

聖徒の道

8

1958年3月17日第3種郵便物認可（毎月1回1日発行）第8巻第8号 1964年8月1日発行

SEITO-NO-MICHI



デビッド・O・マッケイの伝記

428

伝道部長メッセージ

ダウエン・N・アンダーセン

439

コーラに関するマーク・E・

ピータセン長老のメッセージ

442

末日聖徒イエス・キリスト教会
歴史粹

ジョセフ・フィールディング・

スミス長老

443

そこにモルモンの力があり

愛があった

449

音楽に関する教会の方針

463

モルモン・タバナクル・クワイヤー・

ラジオ放送第35年間を完了する

464

系図の道しるべ

465

ジョセフ・スミスの生涯(21)

467

扶助協会レッスン予告

471

支部だより

455

伝道本部だより

461

聖徒の道 第八巻 第8号

1964年 8月号



福岡支部長

吉沢敏郎兄弟の家族

表紙

父からの祝福



デビド・O・マツケイ大管長の伝記(概要)



★デビド・O・マツケイ大管長は、千九百五十一年四月九日以降「末日聖徒イエス・キリスト教会」の大管長である。その時、マツケイ大管長はユタ州ソルトレーク市のテンプルスクエヤにあるタバナクルに集った教会員によって、大管長の地位につくことを「支持する賛成の挙手」を得た。マツケイ大管長は千九百五十一年四月四日に世を去ったジョージ・アルバート・スミス前大管長のあとをついで現在の地位についた。そして、わが教会の創立者であり初代の予言者であるジョセフ・スミスからつづいて第九代目の大管長である。

★大管長の地位につく以前、マツケイ大管長は大管長会の第二副管長の職に在り、千九百三十四年十月一日以来この地位に召されていた。また、第二副管長としてヒーパー・J・グラント、ジョージ・アルバート・スミスの二代の大管長の下に働らき、以来とりわけわが教会の宣教師の全世界にわたる諸活動に対し、責任を引き受けて居られる。

★マッケイ大管長は千八百七十三年九月八日ユタ州オグデン・ヴァレーのハンツヴィルで、スコットランドからこの教会に改宗して来たデビッド・マッケイとジャネット・エヴァンスとの間の息子として出生した。七才のとき父が二年間大英諸島で伝道する宣教師として召される。その間、母と子供たちとは家庭にとどまり、宣教師として働らく父を支えるために家族の農園を経営した。

★マッケイ大管長は始めハンツヴィルで教育を受け、その後千八百九十四年にソルトレーク市にあるユタ大学に入学した。千八百九十七年卒業、卒業の際はクラスの総代として式辞を述べた。

★千八百九十四年に大学を卒業するや教会の宣教師として召され、父の足あとをふんで大英諸島に赴く。千八百九十八年英国伝道部グラスゴー地方部の地方部長に任命され、千八百九十九年解任されて帰国するまで、その職に在って働らく。千八百九十九年、ユタ州オグデンにあるウェバー・ステーク・アカデミー（現在はウェバー・カレッジ）の教授に任ぜられる。千九百二年同校の校長となる。

★マッケイ大管長は千九百一年一月二日、ソルトレーク市のエマ・レイ・リッグスと結婚、千九百五十一年一月二日二人の金婚式の祝賀が催おされた。二人の間には次の子供たちがある。デビッド・ローレンス・マッケイ、ダクター・リュリン・リッグス・マッケイ、ロイヤル・リッグス・マッケイ（死去）、ルー・ジャン・ブラッド（夫人）、エマ・レイ・アシュトン（夫人）、ダクター・エドワード・リッグス・マッケイ、ロバート・リッグス・マッケイ以上七人である。

★千九百六年四月、教会の十二使徒評議員会々員として召され、数箇月後に「末日聖徒イエス・キリスト教会」日曜学校協会の管理者補助となる。千九百十八年には総管理者に任ぜられ、千九百三十四年に大管長会の一員になるまでこの資格で働らいた。

またこのほか教会の中にある多くの要職を兼ね、千九百六年から千九百十九年までは教会の教育部の部員を勤め、千九百十九年から千九百二十一年までは教育部長であった。

★千九百二十一年、マッケイ大管長は全世界にある教会伝道部を訪問する旅行を行なった。そして六万二千マイルを旅行して、南アフリカ以外のすべての伝道部を訪ずれた。

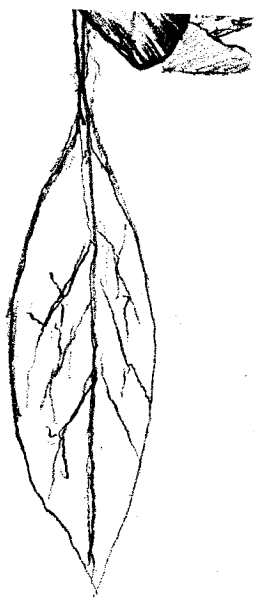
千九百二十二年、マッケイ大管長は英国に本部があるヨーロッパ伝道部の伝道部長に任ぜられ二年の任期を終ってソルトレークに帰る。

その後十年の間、十二使徒評議員会々員として教会の諸活動を全世界にわたって指揮し、千九百三十四年ヒ-

バー・J・グラント大管長に大管長会の第二副管長として選ばれるまでその職を勤める。千九百四十五年にグラント大管長世を去り、ジョージ・アルバート・スミス大管長の代になっても同じく第二副管長として選ばれる。★マッケイ大管長はまた市の重要な職を歴任した。千九百三十八年、ユタ州百年祭委員会の委員長の任をユタ州の知事から受けたが、その資格において行なわれた努力は、モルモンの開拓者がブリガム・ヤングにひきいられて、千八百四十七年七月の二十四日にソルトレークの盆地に到着したのを記念して、一年間にわたり開催されたユタ州百年記念祭において頂点に達した。

★千九百四十二年、アメリカ赤十字ユタ州諮問委員会の委員長として働らき、またユタ州児童の健康と擁護に関する評議会の会長として働らく。

またいろいろの期間、ユタ大学の評議員およびユタ農業大学の評議員として働らく。現在はブリガム・ヤング大学保管委員会会長である。



★背が高く気心の合うこの霊の指導者は、また教会の実業界でも活躍して居り、いろいろの実業団体の理事会の会長として働らいて居られる。

★すでに述べた通り、千九百五十一年四月九日、末日聖徒イエス・キリスト教会第百二十一回四月の総大会で、デビッド・O・マッケイ現大管長は、満場一致を以て教会の大管長として支持された。そして、この教会の大管長の資格を以て、毎年四月と十月に開かれる総大会の管理をして居られる。またこれまで毎年、神殿教会堂その他多くの建物の献堂を行ない、二百万以上に及ぶ会員の霊の指導者として与えられている正規の義務や任命された

ことのほかに数多くの講話をして居られる。

★教会の大管長となつて以来「インブルーヴメントエラ」と「インストラクター」の主席論説委員として働らくこれより前、ずっと教会のためにいろいろの資格で働らいているうちに「古代の使徒」と題する本、その他靈感を与えるレッスンや手引きを多くあらわした。演説やいろいろの経験を編集したものに次の四種の著作がある。

一、「福音の理想」(インブルーヴメントエラ編集) 二、「なつかしい経験」(秘書のクレヤミッドルミス嬢編集)

三、「家庭の思い出」(ダクター・リユーリン・マッケイ編集) 四、「幸福への道」(ダクター・リユーリン・マッケイ編集) がそれである。(ダクター・リユーリン・マッケイは大管長の子息)。全国的雑誌「コロネット」

は、千九百五十四年四月号に「モルモン教徒のマッケイ」と題する興味ある記事掲載された。

★ソルトレーク市を訪ずれる内外知名の士は、大管長事務所にもマッケイ大管長を訪ずれ、大管長が広く国の内外の情勢に通じて居られるのはもちろん、きわめて親切であり誠実な方であることに強い印象を受けている。

礼遇と受賞

★マッケイ大管長は教会の霊の指導者として召された早いころから、隣人にめざましい奉仕をして居られる。いろいろの公共団体や公共の組織は、大管長の人類に対するすぐれた献身的の奉仕を認めて居り、これら公共の団体や組織の能うかぎりの最高の裁定をしてその働らきに対する学園の表彰をしている。

★千九百二十二年六月二日、ユタ州プロヴォのブリガム・ヤング大学は、マッケイ大管長が「有能な教師であり学校経営者であり、かつ教会の教育委員として効果ある働らきをし、かつ人類向上のため生涯をかけ献身をしたこと」を表彰して「名誉修士」の称号をおくる。

★千九百五十年六月二日、ユタ州ローガンのユタ州農業大学は、マッケイ大管長の「教育に対するめざましい貢献を認め、かつ青年男女に対するならびなき指導と、市民の改善および霊の改善につくした功を感謝して」「法学博士」の学位をおくる。

★千九百五十一年六月四日、ユタ州プロヴォのブリガム・ヤング大学は、マッケイ大管長の「偉大な指導力と奉仕、およびその霊性の気高さと業績」とを表彰して「人文博士」の学位をおくる。

★千九百五十一年六月九日、ユタ州ソルトレーク市のユタ大学は、マッケイ大管長の「真善美に対する献身と、その愛と奉仕の生活に主イエスの教え(すなわち人の指導者たる者は必ず人のしもべとなること)を具現した」と、人の価値は人間関係の尊厳と温かさにあることを理解していること」を表彰して「文学博士」の学位をお

くる。

★千九百五十一年六月十四日、ペンシルベニア州フィラデルフィアのテンブル大学は、マッケイ大管長に「文学博士」の学位をおくる。その感状の一部をあげると次の通りである。「貴殿の生涯はこれまで教会の評議会、教会経営の学校の指導、海外における伝道部の統率、教義に関する書籍の執筆、教会経営の実業界の指導等に費やされたり……」。

★次に挙げる教育団体および市の組織等は、マッケイ大管長に賞と名誉会員とをおくっている。

★イリノイ州シカゴの国際外科医科大学は、マッケイ大管長の「人類の福祉に対する貢献と、教育と人道的努力とに献身しかつこれらを奨励したこと」を表章して、同校の名誉会員たる資格をおくった。

★「ブルーキイ国立褒賞団体」は千九百五十六年五月四日、ソルトレーク市において、マッケイ大管長が「無数の人々に宗教的、学問的、愛国的靈感を与えたかどにより」この団体の名誉会員たる資格をおくった。

★ニューヨーク州、アメリカ・ボイスカウト国家評議会のすぐれた働かきに対する褒賞委員会は、マッケイ大管長の「青年に対する奉仕のいちじるしい記録を表章して」国家評議会の最高章である「シルヴァー・バッファロー」章をおくるよう推薦をした。そしてこれは、第三回国家少年団大会に関連して千九百五十三年七月十七日、カリフォルニア州ロスアンジェルス、スタットラーホテルで催おされたアメリカボイスカウト国家評議会第四十三回年次集会においてマッケイ大管長に贈呈された。

★マッケイ大管長は千九百五十一年十月十四日、末日聖徒イエス・キリスト教会ボー・スカウト関係委員会の名誉委員長となり、千九百五十一年十二月三十一日、アメリカ・ボイスカウト、大ソルトレーク評議会幹部理事会の名誉会員の称号を受けた。そしてまた、千九百五十七年七月二十九日、アメリカ・ボイスカウト国家評議会名誉会員となる。

★アメリカ・ボイスカウト大ソルトレーク評議会は、マッケイ大管長の「スカウトプログラムに対する非常に貴重な貢献」を表章して「シルヴァービーバー」章をおくった。そして、千九百五十六年一月二十六日、ユタ州ソルトレーク市アメリカ・ボイスカウト大ソルトレーク評議会の年次会議に於て贈呈された。

★この外マッケイ大管長におくられた褒賞は次の通りである。

★千九百五十二年九月十四日、タマス・D・ディー記念病院は「国家社会の健康を守りかつ増進することに関心と功績のあったことを表章して」マッケイ大管長に褒賞をおくった。マッケイ大管長は、ディー家の人々が所有

権の変更を行なわなければならなかった後病院の経営をつずけておられる。

★ユタ州プロヴォ、ブリガム・ヤング大学は「教室においてのみならず、教会の管理役員として『世界的の人物』としてまた教育という気高い分野における模範として、教育界にいちじるしい貢献があった」ことを表彰して、新しく建てられた「教育センター」を「デビッド・O・マッケイ・ビルディング」と命名した。この建物の献堂は千九百五十四年十二月十四日に行なわれた。

★末日聖徒イエス・キリスト教会はマッケイ大管長の偉大な指導を受けて、ギリシャ国民が災害を蒙ったときに友愛の手をさしのべた。震災を受けたイオニヤ島の人民に与えられたこの偉大な貢献に対し、ギリシャ国王パウ



ル殿下は「宗教のみならず教育の面にもいちじるしい功績のあったことと、諸国民の間に民主主義の理想と善意と理解とを増進するためにたゆむことなく努力をして立派な成功を収めたこと」を表彰して「大勲位騎士十字章」を贈呈された。この勲章の贈呈式は、千九百五十四年十一月二十九日ユタホテルにおける正餐会のとぎギリシャ総領事代理ジョン・A・ツォニス氏主催で行なわれた。

★ギリシャ戦災救済運動ならびにイオニヤ救済運動に対するこの博愛行為を推賞して「南北アメリカ、ギリシャ正教会大主教管区」は「無欲な行為の尊厳と光栄とを認め」、「南北アメリカ・ギリシャ大主教管区黄金記章」を贈ってその名譽を表彰した。マッケイ大管長の手に贈呈されたのは千九百五十五年十一月二十日であった。

★マッケイ大管長は、ニューヨーク州コロンビア大学の政治科学協会、国民旅行クラブ、ソルトトレーク・ロータ

リー・クラブ等から名誉会員の資格をおくられておられる。

★マッケイ大管長の名は「米国名士録」、そのほか「万国名士録」、「世界人名辞典」、「米国教会年鑑」等の伝記の人名簿にのっている。

世界旅行その他の伝道旅行

★マッケイ大管長は、これまで教会の会員に靈感とはげましを与えるために世界旅行をされたことがある。マッケイ大管長から受ける善への感化が教会の会員間に一層いちじるしくなっているばかりでなく、各国民各政府の指導者たちも大管長の人格に接して靈性を高められると共に靈感を受けている。

★マッケイ大管長は千九百二十年十二月一日から千九百二十一年十二月二十四日まで、ヒュー・J・カノン長老を伴って、南アフリカを除き当時設立されていた伝道部を全世界にわたって訪問された。その行程は計六万二千五百マイルに及び、北氷洋を除くすべての大洋をわたり旅程に含まれる多くの場所へ行かれた。この異例の伝道旅行において起った注目し値する経験は、千九百二十一年一月九日、回復された福音を宣べ伝えるために中華民国の地を神に献げる特権を持たれたことである。今一つの印象にのこる経験は、ニュージールランド、ワイカト、ハントレー、ブクタブにおいて原住民の聖徒たちに講話をしているうちにマオリ語の賜を受けられたことである。このことは千九百二十一年四月の二十三日に起った。またマッケイ大管長の訪問を記念してサモア島サウニアワ附近に一基の記念碑が千九百二十一年五月の三十一日に建てられた。

★千九百二十一年におけるこの世界旅行のほかに、マッケイ大管長は千九百五十二年五月二十七日から七月二十七日にかけて、教会員のためにヨーロッパにある九箇所の伝道部を巡ってあるいた。そしてスコットランド、英国、オランダ、デンマーク、ノルウェー、スエーデン、フィンランド、ドイツ、スイス、フランスの諸国を訪問した末、この歴史的旅行を終って帰国された。

ヨーロッパに八週間滞在して居たうちに、マッケイ大管長は九箇国にある十箇所の伝道部を訪ね、四十五の集會で講話を述べ、五つの教会堂を献堂し、伝道部長たちと数多くの協議会を開いた。また大管長の講話を聞いた人々の中にはオランダのユリアナ女王、フィンランドのパーシキヴィ大統領そのほか数人のアメリカ大使等があった。

ドイツ、ベルリンに滞在中、マッケイ大管長は強力なアメリカ放送局RIASにより三十分間の会見を電波にのせ、大管長の伝えることばは「鉄のカーテン」のかたに在る多くの教会員の耳に達した。

外国の新聞紙は、マッケイ大管長がすぐれた（かつひじょうにみりよくのある）人物であつて、その誠実な人格と多くの公開の集會で行なつた、教會員だけでなくすべての自由を愛する人々に適切な靈感を与える勸告、教え、訓戒、忠告等のことばを含む巧みな話によつて強い印象を受けたという記事をかかげた。

★千九百五十四年一月三日、マッケイ大管長は南アフリカ、南米、中米およびメキシコに行く行程三万二千五百マイルに及ぶ旅行にもう一度出発した。帰国は千九百五十四年二月十四日であつたが、大管長はこの旅行中に政府の高官、アメリカ大使および新聞記者たちと度々面接をした。そして南アフリカ連邦では、大管長一行の到着はニュース映画におさめられ、南アフリカ全土の各劇場において上演された。

また南米ではブラジル、ウルグワイ、アルゼンチン、チリ、ペルー、パナマ、グワテマラの諸國を訪問された。

この旅行中マッケイ大管長は、教会の會員および友人のために開かれた三十三回におよぶ集會で演説を行ない何回も行なわれた新聞記者との會見を別にして、伝道部長たちと十四回協議會を開いた。

★千九百五十五年一月二日、マッケイ大管長はトンガ、サモア、タヒチ、ニュージーランド、オーストラリヤ等をめぐる四万五千マイルにおよぶ南太平洋諸島の旅行に再び出発された。

これらの地域にある五つの伝道部において、大管長は歓迎會における話、宣教師に与える指示、福音の説教などを七十二回行ない、南太平洋における全部の主な新聞を代表する人々と二十六回にわたり記者會議とラジオ會議とを開いた。またこの旅行中マッケイ大管長は、皇太子、首相、首相代理、閣僚、議員、知事、總督、市長、原住民の首長のかしらおよび各首長、教育者、著名な実業人、団体指導者および他の宗派の牧師たちと話をまじえた。

★千九百五十五年二月、南太平洋諸島の各伝道部を巡廻旅行中マッケイ大管長は、南太平洋地域における教會員の助けとなるようニュージーランド、ハミルトンの近くに建てる予定である神殿のために敷地を選定した。千九百五十五年十二月二十一日に「くわ入れ式」がすむと直ちにこの神殿の建築が始まつた。

★千九百五十五年の初秋、有名なモルモン・ソルトレークタバナクル聖歌隊はヨーロッパ演奏旅行を行なつた。

このときロンドン神殿の「くわ入れ式」に参加するためにすでに英國ロンドンに来て居られたマッケイ大管長は、演奏旅行を始めようとして船から上陸したばかりの聖歌隊を迎えるためにスコットランドのグリーノックまで出かけて行かれた。スコットランドのグリーノック市長ジョン・ポーター氏も同じくマッケイ大管長とタバナクル聖歌隊とに公式のあいさつをするために出迎えていた。千九百五十五年八月十九日に聖歌隊が到着したこと

は、英国およびヨーロッパのいたるところの新聞がこれをおかけ、またニュース映画によっても報道された。そして、マッケイ大管長と聖歌隊の代表者を迎えるための歓迎会がスコットランドのグリノック、英国のカーデフ、ウェールズ、およびロンドンで催おされ、大管長はこれらの会に出席した。またマッケイ大管長は、スコットランドのグラスゴー、エジンバラ、英国のロンドン、スイスのチューリッヒで開かれた聖歌隊の音楽会にも親しく出席した。

★マッケイ大管長は千九百五十八年四月十日から五月十日までニュージーランドへ一万八千マイルにおよぶ旅行をしたが、その目的は千九百五十八年四月二十日にニュージーランド神殿の献堂を行ない、同年四月二十四日にニュージーランドの「チャーチ・カレッジ」(教会の大学)の献堂を行なうためであった。この二つともニュージーランド、ハミルトンに建っている。そして千九百五十八年四月二十七日(日曜日)にニュージーランド、オークランドにあるタマキ支部の建物の献堂を、また千九百五十八年五月四日、トンガ伝道部、フィジー島スヴァにあるスヴァ支部の建物の献堂を行なってから千九百五十八年五月十日にアメリカ合衆国に帰った。

神殿の献堂

末日聖徒イエス・キリスト教会が大発展をしているとき、教会に関する諸般の事務を指導監督するマッケイ大管長の靈氣に満ちた管理の一大特色は、新しい教育施設の建築と、とくに四つの神殿の建築とを含む巨大な建築計画であった。

★スイス神殿の献堂

ヨーロッパにある伝道部訪問のため千九百五十二年にヨーロッパに滞在中、マッケイ大管長は将来教会が建てる予定であった神殿の建築予定地を二箇所選定した。すなわちその一はスイスのベルンでありその二は英国サレー郡のニューチャペルであった。千九百五十三年八月、マッケイ大管長は再びベルンを訪ずれ、スイス神殿の建築開始にそなえて敷地の奉献と「くわ入れ」とを行なった。

それから二年たつて、千九百五十五年九月十一日、マッケイ大管長は神殿のための特別な献堂式において正式にスイス神殿の献堂を行なった。この献堂式は毎日二回の集りが行なわれつつ千九百五十五年の九月十一日から十五日までつづいて行なわれ、英国、ドイツ語、フランス語、スカンジナビア語の四ヶ国の国語で司会された。

★ロスアンゼルス神殿の献堂

千九百五十一年九月二十二日、このときから五ヶ月前、すなわち千九百五十一年の四月に末日聖徒イエス・キ

リスト教会の大管長として支持を受けたマッケイ大管長は、教会がカルフォルニア州ロスアンゼルスに建築する新しい神殿のために「くわ入れ」を行なった。

それから四年半たって、この美しい神殿が完成してマッケイ大管長は千九百五十六年三月十一日に献堂をした。このとき献堂の式は三月十一・十二・十三・十四の四日間つづきマッケイ大管長はこれを管理、司会した。そして各集会において献堂のことばを述べ祈りをささげた。

★ニュージールランド神殿の献堂

千九百五十八年四月、マッケイ大管長は、ニュージールランドに建てられた新しい神殿の献堂を行なうためにニュージールランドへ赴いた。大管長がニュージールランドへ到着したとき行なわれた正式の歓迎は正に「王を迎える歓迎」の規模であった。千名以上のマオリ、サモア、トンガその他の島民が極彩色の服装をして真正のマオリ、サモア、トンガの踊りを踊り、歓迎の歌を唱ったが、これはまことに目を見張るような催おしであってニュージールランドでは空前の盛儀であった。ニュージールランドの各新聞紙はこれを南太平洋で行なわれた最も盛大な歓迎の一つであると報じた。ニュージールランドの隅々およびその他の全島からこの歓迎に出てきた人々は教会員とその友人を加えて約六千人にのぼった。

★到着の翌日すなわち千九百五十八年四月二十日、マッケイ大管長はハミルトンの近くにあるニュージールランド神殿の献堂を行なった。献堂式は（毎日二回の集会が開かれ）四月二十、二十一、二十二、二十三の四日間、マッケイ大管長の管理司会のもとに行なわれた。マッケイ大管長は各々の集りにおいて献堂のことばを述べ祈りをささげた。そしてこれらの集りは、英語、マオリ語、サモア語、トンガ語、タヒチ語の五ヶ国のことばで、南太平洋の各伝道部のために行なわれた。

★ロンドン神殿の献堂

前に述べた通り、マッケイ大管長は、千九百五十二年にヨーロッパに滞在中、ロンドン神殿のために敷地を選定しておいた。千九百五十三年にスイス神殿建築開始のために「くわ入れ式」を行なうと間もなく、マッケイ大管長はスイスのベルンから英国へわたり、ロンドンの近くにあるサリー郡ニューチャペルにある神殿敷地の献納式の司会をした。千九百五十五年、「くわ入れ式」が行なわれマッケイ大管長はロンドン神殿建築の開始を記念して最初のくわを大地にうち込んだ。

それから三年後、千九百五十八年九月の七日、マッケイ大管長は壮麗なロンドン神殿の献堂を行なった。それ

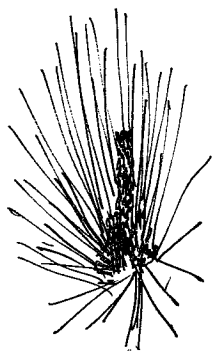
は千九百五十八年に献堂されたわが教会第二番目の神殿であった（第一番目はニュージーランド神殿である）。マッケイ大管長は九月七・八・九の三日間にわたった献堂式（毎日二回の集会）を管理し、また各集会において献堂のことを述べ祈りをささげた。

教会の教育組織

以上の神殿のほか最近教会は新しい学校をいくつも建てている。マッケイ大管長は千九百五十八年四月廿四日に、「デビッド・オ・マッケイビルディング」と「マシュー・カウレイビルディング」とともにニュージーランドハミルトンにおけるニュージーランドのチャーチ・カレッジ（教会の大学）を献堂した。教会はフィジー島トングアにライアホナ・カレッジおよびハワイ、オアフのライエにハワイのチャーチ・カレッジを設立したが、これらはわが教会の学校組織に最近つけ加えられたものである。このほかの大学にも一層多くの教育施設がつけ加えられている。教会経営の学校中一番大きいブリガム・ヤング大学はマッケイ大管長の靈感に満ちた指導を受けてその施設がひじょうに拡張された。偉大で気高い人である指導者の発展と成長の精神が教会のいたるところで感ずることができる。

ソルトレーク市に住む

★マッケイ大管長はユタ州ソルトレーク市に住まっておられるが、ユタ州ハンツヴィルに、なつかしい家族の農場を相かわらず経営しておられる。マッケイ大管長は幼年時代を送った所をくまなく愛馬にまたがって乗りまわすのを楽しみにして居られ、そうでなければ数頭立ての牛（か馬）につけたすきで農場を耕やし、少年時代の労働を時々思い出して居られる。（千九百五十八年九月記）



伝道部長メッセージ



伝道部長

ダワエン・N・アンダーセン

「ゴールドン・B・ヒンクレー極東伝道部監督が、東京北支部と東京西支部の教会堂を献堂するために日本へおいでになったとき、宣教師たちとくべつの集会をなさいました。その集会で「主の使徒」は、バプテスマを受けて教会員となった人々が不活潑になるのをとめる助けとなる五つの手段の大体をお話しになりました。これらの手段の一つはこれらの会員を「神の善いことば」で養なうこと、別のことばで言えば、これらの会員に聖典を勉強させることでありました。昔の使徒パウロは、「テモテへの手紙」の中で当時の聖徒たちにこれとおなじ勧めを与えております（テモテへの第一の手紙四〇六・十三・十六参照）。すなわち「これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰の言葉とあなたの従ってきた良い教の言葉とに養われて、キリスト・イエスのよい奉仕者になるであらう」。

「わたしがそちらに行く時まで、聖書を朗読することと、勧めをすることと、教えることとに心を用いなさい」、「自分のことと、教のこととに気をつけ、それらを常に努めなさい。そうすれば、あなたは、自分自身とあなたの教を聞く者たちとを救うことになる」。

使徒たち（すなわち一人は古代の使徒、一人は現代の使徒）は共に聖典を読みなさいと私たちにお言いになりました。また私たちの贖い主である主も「あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思つてしらべているが、この聖書はわたしについてあかしをするものである」（ヨハネによる福音書五〇三十九）と同じいましめを私たちに与えておいでになります。この末日に回復された（神の）教会には、教義の要点をわかりやすくまたはっきりさせるように互いに助け合い、互いに組み合っている聖句がたくさんあります。聖書だ

けでは必ずしもすべてのことがはっきりわかりませんが、私たちの教会にあるほかの標準聖典にある聖句の助けによって、神のことが確実になるのであります。

紙の上にある一点を通してあらゆる方向に何本も線を引くことができますが、もしも紙の上に互いにはなれた二つの点があるときには、この二つの点を通してただ一本の直線しか引くことができせん。今日、多くのキリスト教会が示しているように聖書だけではいくつもがった解釈ができます。しかしながら「モルモン経」、「教義と聖約」、「高価なる真珠」の（三標準聖典）は第二の点となって聖句の解釈にただ一つの方向を与えます。わたくしたちが教会の標準聖典をもっていることは、いかにもめぐまれていますけれども、私たちがこれらによく通じていなければ何の役にも立ちません。

聖書はアダムの中からキリストの死後数年までに至る各時代を通じて（与えられた）数々の啓示と、神と人間との交渉とがのっている、多くの筆者によってあらわされた数々の書を集めた書物であります。聖書の記事は歴史上の事実とはもちろん、考古学上の証拠とも矛盾して居ません。またその教えは、各自の生活で実際に行なった人々によってその堅実なことが証明されています。「われらは正確に翻訳された限り、聖書は神の御言葉なりと信ず」（信仰個案第八条）。

モルモン経もまた、紀元前約二千五百年から紀元四百二十一年までにわたって多くの筆者がしるした書を集めた書物であります。アメリカ大陸で発見されている考古学上の証拠は、ひきつづきモルモン経の立場を強化する数々の証拠となっています。モルモン経は今まで世にあらわれた最も独特な（類のないめずらしい）書物であっ

て、神の存在を系統的に証明する力をもっています。聖書は人間が書き、人間が翻訳し、人間が保存してきましたが、「モルモン経」は人間が書いたものであるけれども紀元四百二十一年から十九世紀に至るまで神によって保存され、神の力によって翻訳されました（聖徒の道」千九百六十三年七月号、四二—四二三頁参照）。

それはこの末日の時代にあらわれる「不思議な驚ろくべきわざ」（イザヤ書二十九〇十四）の一部分であります。しかし、その本当の力は外にあらわれた証拠にあるのではなくて、モロナイが「ごらん、私はあなたたちにすすめたい。あなたたちがこの記録を読むことを神が許したもうならば、あなたたちはこの記録を読むときに、アダムが造られてからあなたたちがこの記録を受けるまで、主が世の人々にどれほど憐みを垂れたもうかを思い起して心の中に深く考えてほしい。またこの記録を受けるとき、それが真実なものかどうかをキリストの御名によって永遠の父なる神に問え。もし誠心誠意でその上キリストを信じながら問うならば、神は聖霊の力によってこの記録が確かなものであることをあなたたちに示したもうにちがいない」（モロナイ書十〇三・四）と言ったやさしいことばの中にあるのであります。教会員である者は一人のこらず、聖霊がその中に書いてあることが真実であることを、たえずあらわしたもうことができるように、まごころを以て「モルモン経」を常にかかさず読まなければなりません。「また『モルモン経』（英文）も神の御言葉なりと信ず」（信仰箇条、第八条）。

「教義と聖約」はジョセフ・スミスとそれ以後の大管長に下った数々の啓示から、百三十六の啓示を選んで集めた書物であります。その啓示のうち大多数は、千八百二十八年から千八百三十三年の間

にジョセフ・スミスに与えられたものであります。この間は教会が
できあがる時であつたので、多くの導きと指図を主から与えられる
必要がありました。これらの啓示の中には、古代の聖典を理解する
助けとなる教義と知識とが含まれています。その中には教会の組
織、神権の権能と義務、礼拝の様式等が教えてあり、私たちが「天
の父なる神」の御前に再び帰ってゆく準備をするために必要な律法
と規則がはっきり定めてあります。この「教義と聖約」は末日聖徒
に対してとくべつに与えられた近代の聖典でありますから、私たち
(末日聖徒)にとつてきわめて大切な聖典であります。私たちが直
接責任を負つて居り、また私たちの行ないがさばかれるものになる
のは(神の)律法と規則であります。「教義と聖約」の中に始めか
らあつた百三十の各章には教会に対する根本的の基準がしるしてあ
ります。そのほかの啓示は、そのあとから与えられたものであり、
そのほかにもこれから与えられるはずであります。適当なとき、啓
示は(将来)教会に対する指図として予言者から与えられますが、
もとからある「教義と聖約」につけ加えられることはありません。
「われらは、すべて神のこれまでに啓示したまいしこと、すべて今
啓示したもうことを信じ、なお今より後、神の王国につきて多くの
偉大にして重要なことを啓示したもうことを信ず」(信仰箇条、
第九条)。

「高価なる真珠」には四つの部分があります。すなわち(一)モーセ
の書、これはジョセフ・スミスに明らかにされたモーセの示現と著
作の一部分であります。そして(旧約聖書)創世記の第一章から第
六章までののつているところと全くよく似て居ります。(二)アブラ
ハムの書、これはエジプトで発見されアメリカ合衆国へ運ばれてきた

ミイラの中に入っていた「アブラハムの書いたもの」であつて、ジ
ョセフ・スミスはこれを神の力によつて翻訳することができまし
た。この書の中には、ほかのどの書の中にもものつていない記事があ
ります。(三)予言者ジョセフ・スミスの伝記の一部、そのほかジョセ
フ・スミスの著作。(四)信仰箇条。教会の標準聖典についてもとく
わしいことを知りたいならば、オスカー・W・マッコンキー著「神
の王国」(千九百六十四年度アロン神権の手引き)第三十四章―三
十七章を参照のこと。

私は日本人くらいよく本を読む国民を見たことがありません。も
しこれらの人がその努力の一部を聖典の研究にむけたなら、神の目
に大いなる民となることができるでしょう。私たちは毎日一定の時
間を割いて、聖典の中に含まれている神の永遠の真理をよく知るよ
うにしようではありませんか。

「およそ、われらのこの世に於て達する英知の一切は、何にても
よみがえりの時われらと共によみがえるべし。さればもしある人あ
りて、精励従順によりこの世に於て他の人よりも一層すぐれたる知
識と英知とを得ば、未来の世に於てそれだけ利を得べし」(「教義と
聖約」百三十〇十八・十九)。「人はパンだけで生きるものではなく
神の口から出る一つ一つの言で生きるものである」と言つてありま
す。四標準聖典の中のものに於ける聖句は神のことばであります。私
たちが勉強と研究によつて、この世で私たちの導びきとなり、ま
た同時に復活のとき私たちと共によみがえる持物の一つである永遠
の知識を得るように祈る次第であります。

コーラに関する

マーク・E・ピーターセン長老のメッセージ

愛する兄弟たち

私たちは末日聖徒の或者から、教会の指導者（指名せず）たちが特に社交の席上でコーラを飲んでいるのを見たとの忠告を受けました。

私たちは私たちの指導者も会員もコーラを飲まないように忠告したいです。

コーラの飲用に対する大管長会の態度は、コーラが習慣をつくるカフェインを含んでいる以上私たちは用いないようにすべきであるということです。

それは公式に知恵の言葉の中に入って居りませんが兄弟たちは、はっきりとコーラ飲用に反対すべきであります。

私たちは単に貴方たちが反対するばかりでなく支部内の指導者たちに飲まないようにすすめるように希望します。



末日聖徒イエス・キリスト教会歴史料

47

第四部 ノーヴー時代

第二十七章 ノーヴーの基礎を置く

(千八百三十九年—千八百四十年)

一、新しい住家をさがす。千八百三十九年、暴徒の脅迫と乱暴があまりにひどくなったので、ファールウェストの聖徒たちはミズーリから出て行くほかはなかった。千八百三十八年の十一月に、アダム・オングダイ・アーマンに住んでいた教会員たちはすでにその家庭から追い出されてしまつて居り、クラーク將軍はファールウェストで熱弁をふるつて聖徒の悪口を言った際、会員たちにむかつて、君らは別の季節までここにのこつて居れると考へてはならないと言つた。万一同り入れをしようなどとするなら、情ようしやもなく彼のためにみな殺しにされたことであらう。

出発は事情のゆるすかぎり急速に行なわれた。冬期の陰悪な天候を冒(おか)して、先手の人々は東の方へ道をとつてイリノイ州クインシーまで行つた。彼らはそこの人々から親切にもてなされた。しかし、聖徒たちがどこに居住するかはまだきまらない問題であつて、そのときまだ牢獄に居た予言者は彼らにほとんど助力を与えることができなかった。予言者はただ、彼らはファールウェストとカーランドの間にあるどこか友好的な地域に居を占めるがよろう、そこで彼らは平和に住むことができるかも知れないと言つた。東の方にむけて旅行を始めたミズーリからの避難者たちに、オハイオ州における聖徒たちがさきにつくつた部落へまた歸つて行こうと思つた者が多かったことは、ありそうなことであつたが、彼らが受けた

親切な待遇と、西部イリノイから来た聖徒たちのすすめもあって、彼らはクインシーに止まった。

全くのところ、彼らはそのうちのめされた状態においてほかにほとんど何をすることもできなかったので、親切なことばと彼らにのばされた救いの手をひじょうに喜んで受け入れた。クインシーでは、民主協会という団体があらゆる親切をつくして、困っている聖徒に援助の手をさしのべた。千八百三十九年の二月と三月のうちに、この団体の集りが数回開かれてこの団体以外の人々もこれに加わった。そして人々の同情が「モルモン教徒」に注がれ、クインシーの住民の中で誤まった指導を受け、聖徒たちに敵対心をもっていた人々の偏見をやわらげるために、いろいろの手段がとられた。このような集会の一つに出席するようにモルモン教徒は招かれ、シドニー・リグドンその他の人々がミズーリで受けた迫害のことを述べたが、同情ある人々は真剣にそのことばを聞いた。この団体を通じて物質的の援助がいろいろ与えられ、また多くの人々が職につくことを得た。またこの団体は、次のような決議を行なってクインシーへ避難してきた人々がミズーリで受けた虐待を不可とする声明をした。

「決議。われわれは良心の権利が生れつきのものであり奪うことのできないものであって、わが自由の政府が制定した憲法が保証した最も神聖にして犯すべからざるものであると考える。

「決議。われわれはすべての暴徒たちの行為を兇悪な法律違反であると認め、このような違反を行なった人々は、神と人との律法（おきて）に対し、財産権利人命を奪った行為の責任を一人一人とるべきである。

「決議。ミズーリ州西部国境の住民たちは、「モルモン教徒」と言われる種類の人々にさきに加えた迫害により、良心という神聖犯すべからざる権利を侵害し、正義と人道のあらゆる律法（おきて）を破っている。

「決議。ミズーリ州の知事は或る無情な暴徒の強要を受けて、この種の人々を保護することを拒絶し、節操のない民兵の一隊に彼らを根だやしにせよという命令を与えておそいからしめたことにより、自己の統治する州に消す能わざる不名誉を与えた」。

聖徒たちはまたトーマス・カーリン知事、アメリカ合衆国上院議員リチャード・M・ヤングそのほか西部イリノイ州の著名な人々からも親切に迎えられた。

ジョン・テイラー長老は、クインシーのアーガスに通信を送って「モルモン教徒」の喜びを言いあらわすと共にクインシーの人々に特別な恩義を感じていると言ったが、またそれと同時に、末日聖徒の教会に属していたこともないし、または属していたがわけがなくて破門された者、いずれにしても教会と関係がないのに会員であるふりをして親切につけこむ者を警戒されたいと言った。

これらの善良な人々が聖徒に示した同情はもとより誠心から出たものであったが、それでもその行為に関連して多少利己主義の点があった。その後のことからはっきりわかるように、自分たちの州内に安息と平和の避難所を求めて入ってきた、これらの貧困な悩んでいる避難民の人たちに親切をして、何か政治的経済的利益を得ようとする人たちは期待していた。聖徒たちがミズーリ州から追われたところは最も烈しい大統領選挙の行なわれる少し前であって、イリノイ州の中に六ヶ月住んでいると選挙権がもらえるのであった。敵

味方にわかれた政治家たちは、「モルモン教徒」の票がもたらす利益を得ようとする機会を見のがさなかった。それであるから、最近受けた迫害と自分たちの町を再建しようとする望みで頭がいっぱいになっていた「モルモン教徒」は、この地で完全に平和な生活を送りたいばかりに、今自分たちが置かれている事情を理解することができなかった。もしも一方に味方をしたならば、もう一方とはかならずよそよそしくならなければならないにきまって居り、消すことのできない苦々しい感情が起きるにちがいがなかった。やがてこれが本当であることを証明する時がやってきた。

二、土地を見つけるための委員会。

聖徒たちがクインシーに集合しているうちに、永住するために適した土地を探し出すために委員が任命された。千八百三十九年の二月に集會が催おされてデ・モアンとミズーリ川の間にあるいわゆる「合の子の土地」と言われているところに一エーカー二ドルの割合で約一万二千エーカーの土地を購入する提案が考慮された。またこのほかの土地についてもしばしば考えられたが、ジョセフ・スミスが長い禁錮から釈放されてクインシーに到着するまではっきりした処置はとられなかった。一方、イスラエル・バーロー長老はミズーリ州から逃れる際に道を北東にとってデ・モアン川の川口近くのところへ何一つ持たない有様で到着した。ここで長老は親切に迎えられたので、聖徒たちの悲しい経験を物語った。そして、ダクター・アイザック・ギャランドと知り合いになったが、この人はそれから少し北の方へ行つたところに、アイオワ州とイリノイ州にまたがった広い土地を持っていた。そして、イリノイ州ハノック郡コマースという所に住んでいたが、これはクインシーからミズーリ州を約五十マイル上つたところの川

岸にあった。

三、コマース村。

ギャランド氏はデビッド・W・ロージャースのところへ手紙を送つて、聖徒たちはアイオワに住んでいる方がよいではないかと言つたが、それは聖徒たちが「殺人と略奪と強盗が民衆扇動家のあつた（？）性格であり、最大の悪漢がしばしば最高の役職につくことがある」アメリカの一州に居るよりもアメリカ合衆国の裁判権の及ぶ所に居た方が、暴徒におそれないようにな層よく保護をされるだろうと考えたからである。また氏は、以前からオハイオに居た「モルモン教徒」のことをよく知つて居り、「モルモン教徒」は善良な市民であるとひじょうに賞めていたアイオワ州の知事ロバート・ルカスのところへ手紙を書き送つた。しかし、四月に予言者スミスがクインシーに着いたとき、予言者は五千ドルの金で百三十五エーカーの農場をヒュー・ホワイト氏から購入した。また九千ドルを出して、ホワイト氏から買った土地の西に当る所にある別の農場をダクター・アイザック・ギャランドから買入れた。コマースの近くにあるこの土地は長期の「約束手形」によつて購入されたのであった。何一つ（目ぼしい物を）持っていない聖徒たちは、以上二つの農場とミズーリ川のアイオワ側にあるモントローズという小さな村に集り始めた。

四、ジョセフ・スミス、コマースへ移る。

千八百三十九年五月十日（金）大管長ジョセフ・スミスはコマースの南一マイル、ホワイト氏から買った土地の上にある、ミシシッピ川の川岸の小さな丸太小屋に住居を定めた。この場所が聖徒が建てた最初の家は、テオドーア・ターレーが千八百三十九年の七月に建てた家であった。ホワイトおよびギャランドの兩人から土地を買った当時、コマースに

あった建物は石造の家一軒と木造の家三軒、ブロックハウスが二軒、そのうち三軒は丸太小屋であった。コマースとデビッド・ヒッパードの所との間にある川に面した南向きの土地に四軒の家があり、そのうち三軒は丸太小屋であったが、予言者スミスの移ったのはそのうちの二軒であった。そこは事実上荒野も同然であって、土地は木や茂みにおおわれていたが、その多く、特に川に近い低地帯はひどい湿地であって馬や牛にひかせた車で通ることは不可能であり、歩いてわたることもひじょうに困難であった。このように不健康な条件にもかかわらず、予言者は、土地の排水を行い主のみめぐみを受けなければ、ここは聖徒にとって快適な住居にすることができであろうと思った。それで、このところに一つの都市をたてようといふ決心をした。この決定の中には靈感があった、というのは、もしも低地の不利な条件さえとりのぞかれるならば、これは都市をたてるためにすばらしい立派な敷地であるからであった。ミシシッピー川は半円をえがいてこの土地をめぐり、土地の三方は川に面していた。土地は川岸からしだいに登りとなって、約一マイル登ると一つの高台となり、それからさきはずっと草原につづいていた。こんな美しい敷地はどこを探してもなかったであろう。

五、都市ノーヴー。コマースという名前はまもなく「ノーヴー市」とかえられた。この名前はもともとヘブライ語から出た名前であって「その意味は美わしき場所もしくは美しき所であって、安息という考えも含み、まことにもっとも快適な場所であることを表わして居る。それはミシシッピー川の東岸、ハンコック郡にあるデス・モアン急流の起点にあって、東方はすぐれて美しい広漠たる草原に境を接し、南西北の三方は半円を画くミシシッピー川にとり

巻かれている」と予言者スミスは言っている。ノーヴーはセント・ルイから約百九十マイル川をさかのぼったところであり、ほとんど同じ距離を西方へ行けばシカゴに達する。

六、ほかの敷地が選ばれる。聖徒たちが集合するためこのほかにも数箇所の土地がみな楽な条件で購入された。ホワイト、ギャランドの両人から購入した土地に隣接する土地がさらにデビッド・ヒッパード、ダニエル・H・ウエルズ、ハイラム・キンボール、ホレーズ・L・ホッチキスそのほかの人々から購入されて、後にノーヴー市の一部分になった。川を越えた向う岸のアイオワの州の中にも広い土地を保有することとなった。リー郡にあるナツシヴィル村は隣接する二万エーカーと共に、またノーヴーの向い側にある土地も購入された。ここにおいて予言者スミスは聖徒たちに命じて、これから建てる市はその名を「ザラヘムラ」と呼べと言った。聖徒たちがミズーリから追い出される以前、いくらかの教会員はすでに居を定めていたので、教会員たちが永久的に住居を定めるのに適している場所であると思われた。

七、シオンのステーク部、組織される。千八百三十九年十月の五日から七日にかけてコマースで開かれた総大会でシオンのステーク部が二つ組織された。一つはコマースにあるステーク部で、ステーク部長はウィリアム・マックスであり、他の一つはアイオワにあるステーク部でステーク部長はジョン・スミスであった。これにつづいてその後クインシー、リマ、コロンプス、ゼネバ、イリノイ等でもほかにステーク部が組織されたが、これらはいずれも長つづきしなかった。さきに、末日聖徒たちは広い地域にちらばって、方々で組織をつくるという考えであったようであるが、この計画が放棄

されたので、方々にちらばっていた聖徒たちは千八百四十一年一月に下った啓示により、イリノイ州ハンコック郡、アイオワ州リー郡に集って教会員が住む入殖地をここに作りあげよという命令を受けた。これは「天の命にかなうことである」と大管長会はしるした。これによって聖徒たちはノーヴーに移住し始め、聖徒たちが入りこんで来たことによってノーヴーは急速にふくれあがった。ノーヴーの敷地を見つけてから一年たつたといううちにノーヴーの人口は三千人となり、後年西部へ大移動の行なわれた時には二万人近くになっていた。ザラヘムラのステーク部は後に廃止されたが、ジョン・スミスはそこによってアイオワの聖徒たちを管理していた。

八、病人たち奇蹟によっていやされる。 教会員たちが最初コーリスに到着したとき出逢った不健康な環境によって、多くの人々がマラリヤ病にかかり死ぬばかりの重態におち入った。当時（貧困な有様で着いたばかりであったから）家を建てるどころか丸太小屋をつくる時間も財産もほとんどなかったので（ミズーリから）逃れてきた人々の中には TENT やほろ馬車の覆いの下に雨露をしのいでいる者もあった。千八百三十九年七月二十二日の朝（それまで病いのために床についていた）予言者スミスは、床から起き上ると主のみにたまに満たされ、川の岸へ進んで行って病になやむ人々をことごとくいやした。その中には当時瀕死の状態にあったと思われるヘンリー・G・シャールウッド、ベンジャミン・ブラウン等があった。予言者はそれから川を渡ってモントローズへ行き、病床にあったブリガム・ヤングそのほか十二使徒の何人かをいやし、これらの人々をつれて病人をいやす仕事の助けをさせるために出て行った。アイオワ

で起ったことについてはウィルフォード・ウッドラフ長老が次のように述べている。

「石造の家まで、川岸に住んでいた病人をことごとくいやしてから、予言者はキンボール長老その他数人の長老たちに、自分と一しょに川をわたってモントローズに居る病人たちをたずねようと言った。このとき多くの聖徒たちは古い兵舎の中に住んでいた。その中には数人の「十二使徒」たちが居たが、予言者は到着するとまず第一に、そのとき病床に在った十二使徒会長ブリガム・ヤングの住んでいる家をたずねた。予言者ジョセフがブリガム・ヤングの病いをいやすと、ヤング長老は立ち上って、自分と同じように病いに臥しているほかの人々をいやすために予言者の行くところへ一しょについて行った。一行はモントローズに住んでいたウィルフォード・ウッドラフ、オルソン・プラット、ジョン・テイラー等の長老のところをすべておとすれ、彼らはみな予言者に従って行った。その次に一行がおとすれたのは、今や息をひきとろうと思われていた（瀕死の）エライジャ・フォルダムの家であった。一行が部屋へ入ると「神の予言者」（ジョセフ・スミス）は瀕死の男のそばへ歩みよる、彼の右手をとって話しかけた。しかし、フォルダム兄弟はもはや声を出すことができず、両眼はすわってしまい、あたりのことに全く気がつかない様子であった。ジョセフは彼の手をとって、だまっただままししばらくその両眼をのぞきこんでいたが、やがてある変化がフォルダム兄弟の容貌にあらわれてきたことがその場に居たすべての者にわかった。フォルダム兄弟の眼が見えるようになった。そしてジョセフが、わたしがわかるかと言うと低い声で「はい」とささやいた。そこでジョセフがかさねて、病いをいやされる信仰があ

るかたずねると、もうおそすぎたと思う、もうすこし早く来ても
らえたら助かったものを、と答えた。これを聞いてジョセフが「あ
なたはイエス・キリストを信ずるのか」と言う、と彼は弱々しい声で
「信じます」と答えた。するとジョセフはすつくと立ち上り、彼の
手をとったまま数分間だまっていたが、やがて（とどろくような）
大声で「フォルダム兄弟、イエス・キリストの御名によつて命ず
る、床から起きていやすれよ」と言った。予言者の声は神の声のよ
うであり人の声ではなかった。わたしはその時家が土台からゆれ動
いたと思った。（この声を聞くと）フォルダム兄弟は（ただちに）病
いの床から起き上りまもなくいやされた。彼は両足に湿布をしてい
たが、これをけとばして服をつけ、ミルク入りのパンがゆを一椀た
べ、予言者について通りへ出て行った」。

このようにして予言者と兄弟たちは家から家へと通つて行き、病
いに臥していた人々をいやして墓の入口から彼らを呼び戻した。教
会員でない一人の男が、このように力あるわざの行なわれるのを目
のあたり見て、予言者に、自分と一しょに来て重態におち入ってい
る二人の子供をいやして下さいとねがったのはこの時であった。予
言者は（彼のたのみを聞いて）行くことはできなかったが、その子
供たちをいやすために誰かをかわそうと言った。そして、ポケッ
トから絹のハンカチを一つとり出すと、これをウイルフォード・ウ
ッドラフ長老にわたして、行つて子供たちをいやしてくれ、この
ハンカチで子供たちの顔をふくといやすれるからと言った。ウッ
ドラフ長老が行つて予言者のことば通りにするとその子供たちはいや
された。予言者がウッドラフ長老をつかわすとき彼はウッドラフ長
老に言った「君がこのハンカチをもっているかぎり、君と僕とは結

ばれているにちがいない」と。

九、ノーヴー市、法人団体となる。ノーヴー市は千八百四十年
の十二月に法人団体となった。十二月の十六日トーマス・カーリン
知事はその法案に署名をした。当時スチーヴン・A・ダグラスが国
務長官であつて、立法部の部員であつたエブラハム・リンカーンは
その法案に賛成であつた。そして将来の拡張に十分をなえて市の境
界が決定された。市の参事会は市長、助役（四人）および市参事（九
人）から成るはずであつた。千八百四十一年二月の第一日曜日に選
挙が行なわれた。

十、自由な憲章。市の憲章はひじょうに自由な権威のある憲章
であつた。それは長い間暴徒のためになやまされてきた聖徒たちが
受けたいと望んでいたすべてのもの、否それ以上のものであつた。
その憲章は二十八章から成り、アメリカ合衆国の憲法とイリノイ州
の憲法によつてだけ制限を受けていた。そして「スプリングフィー
ルド市の市参事会に与えられた」すべての権能はノーヴー市に授け
られた。市長と助役には、州の法律のもとに起る民事々件も刑事々
件もとつとあつかう治安判事の権能がすべて与えられた。また市長が
主席判事、助役が陪席判事となる市の法廷がそなえられた。この法
廷は市の条令のもとに起るあらゆる事件によつて「身柄提出令状」
を交付する権限をもつていた。そして十二人の陪審員によつて裁判
を行なうことが保証されていた。

そこにモルモンの力があり 愛があつた



ここに、新潟地方に地震災害がもたらされたのを知るや、すぐに救援活動をはじめ、現地に直接指揮するためにのりこんだ東中央地方部第一副地方部長田中健治兄弟のメモがある。メモには救援活動の様子と、現地の人々の様子が、簡素な文体でまとめられている。また、現地から直接報告されたものや、学生会員として救援活動をした兄弟姉妹の報告。地方部救援活動を実施するに当って、複雑な事務や、折衝をした評議員、扶助協会員等からの報告を集めて、ここに特集記事としてみた。メモの部分は原文のまま。

一九六四年六月十六日昼さがり東京地方に
もかなり大きな地震があった。それが新潟地
方をおそった地震であり、被害の大きさが判

明ししたのは午後三時頃であった。新潟支部の状態が気づかれたが、その間のことをメモからひろってみよう。

六月十六日午後一時二十五分頃勤務先ノ会議室ニテ会議中カナリ大キナ地震ヲ感ズ。社用デ外出、午後三時車中ノラジオデ新潟ニ大地震ガアッタ模様ト知ル。直チニ下車、東中央地方部長今井兄弟ト伝道本部ニ報告。

当初連絡をとるにも通信の混乱で実状がつかめなかったが地震のもたらした災害の大きさが判るにつれて、救援活動について地方部伝道部で緊急会議が開かれた。その間群馬支部より救援のためにトラックを出すとの連絡があった。

六月十七日朝カナリノ状態ガ判明スル。救援ヲ地方部カラモ出スコトに内定スル、早急ニ原案ヲ作成スル。新潟支部ノ状況ヲ米軍基地ニ避難シテイタ宣教師ヨリ米軍ノ無線ヲ通ジテ聞ク、会員ノ死傷者ナシ、建物ニ若干ノ被害ガアッタヨウデアル。

緊急地方部長会ニヨリ原案修正ヲウケル

出 発 前 の 準 備



群馬支部ヨリ救援車ヲ出スムネノ連絡ヲ受ケル、タダチニ地方部活動計画ニ加ワツテモラウヨウニスル。

夜十時伝道部長ノ承認ヲ得、十一時半手筈分担ヲ決定閉会。

救援計画は着々と実行され、事情視察のため評議員が単身先発した。扶助協会の助けを得て物資の買付けがはじまった。

六月十八日十時群馬支部ヨリ荻本信美支部長以下北村、石川、大橋兄弟、新井、塩

沢ノ両姉妹ガ水、食料品、衣料ヲ積ンデ出発
夜半新潟着

地方部の救援物資ハ次ノ通りデアッタ。
水 七百リットル（二十リットル入容器三十五個）下着類（男女百五十人分）フトン五十組、食料（四百五十食）野菜、菓品ソノ他

警察ヨリ緊急運送用ノステッカーヲ受け
六月十八日夜出発六月十九日午後新潟支部着



三國峠の検問所で待たされる

群馬支部（高崎）地方部（東京）から二組に分かれて救援物資を運送中、新潟支部では支部長会、アロン神権会を中心に、会員たちの大変な努力によって、会員の消息が集められていた。救援本部を自宅に置き不自由な足で自転車に乗って会員たちを勇気付けた松川支部長夫妻、また三条から自転車で米を積み直ちに支部にかけつけて、無人の支部内で連絡にあった大橋副支部長、ももまで水につかって避難所をめぐり安否を確めて連絡した福島、馬場、森兄弟等の活躍がはじまっていた。

彼たちは困難な指示を受けてもためらわずひざまづき祈り、進んで困難にたち向って行った。この人々の信仰を見、愛を見た時、幾多の兄弟姉妹が力づき勇気づけられたことだろうが、再びメモから。

三地区ニ分ケ各リーダーヲ置キ組織的ニ活動ヲスルヨウニ計画スル。支部ノ建物ハ倒レナイニシテモ集会ニハ使用デキナイ状態ナルコト。

物資ヲ届ケニ行クト本当ニ喜コバレタ、特ニ水ハ役ニ立ツタ、津波ニヨツテ泥ト油トガラクタニウズマツタ真暗ナ街路ヲ行ク

間ニ何度も教会ノコトヲ聞カレタ。民間ノ救援隊トシテハ一番乗りデアッタ様子。

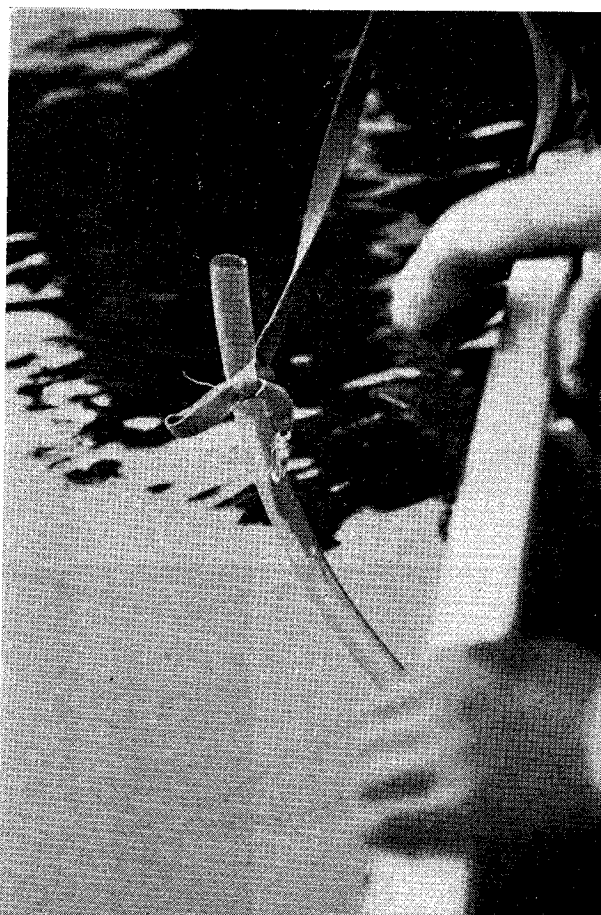
六月二十日からいよいよ本格的に救援活動がはじめられた。早いようでも地震からもう四日もたっている。救援を受ける方もする方にもあせりの色はかくせないようだ。その中で教会の救援隊は調査した結果を分析し、冷静に判断を下し重点的に活動をはじめた。

山ノ下橋ヲ渡ル手前デ車ヲ止メラレル。

警官ノ云ウ所。「昨日ヨリ十五センチ増水シテイル。コノ道ハ山ノ手地ニ入ル唯一ノ道ダ、途中デ故障シテミタマエ君達ノ車ノタメニ沢山ノ人ヲ助ケル物資ガ入ラナクナル。ドウシテモ行くナラ責任ヲ取ツテヤレ自分達デレッカー車ヲ引張ツテ来レナイナラ通スワケニ行カナイ」市ノ車デサエ昨日ハ行ツテナカッタノニ、二十四時間握リ飯ヲ一ツト云ウ状態ダッタコトヲ知ッテイルカラコチラモ強行突破シタイノダ、シカシ深い油水中デ故障シタラ確カニ邪魔トナル。思慮ト決断ヲ要スル場面デアリ、勿論導キヲ切ニ必要トスル場面デアル。色々



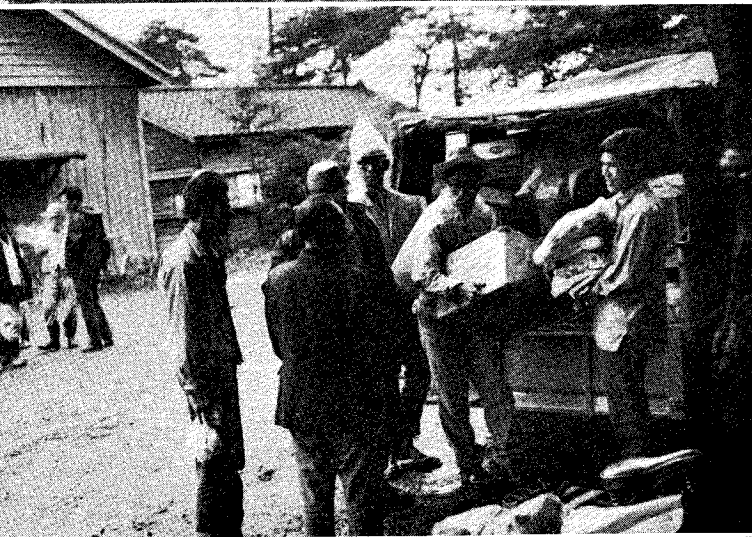
山の下橋前で警官に止められ
押し問答中、白いヘルメット
が警官



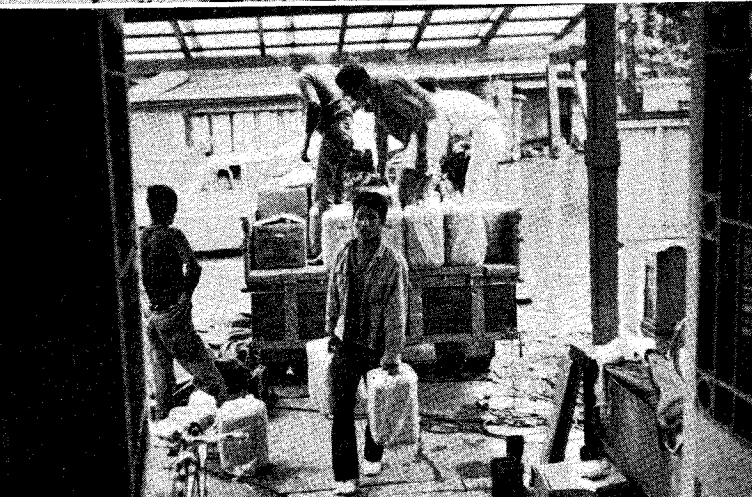
自衛隊の車もまだ入らない所に行くため
の工夫。
排気管からチューブを延して、電気系統
には、防水のためにビニルで囲んだ。



ナ条件ヲ考エメグラシテイルト、運転ノベ
テラン萩本兄弟ハ「大丈夫行キマシヨウ、
ダメダッタラ押シマシヨウ。今警官ニ責任
ヲトレバインデシヨウト云ッテ来タ所デ
スヨ」トイッタ。大神権者五名ト、忠実ナ



ル姉妹二名助ケノナイ訳ガナイガ自然ノ法
則ハ公米デアル。橋ノ上ニ出ル願ウ心に瞬
間ニヒラメク、前ノ大型車ニ引イテモラウ
ヨウ頼ム。OK。シカシ、玉ロープデハ切レ
ル。ワイヤーガナイ。後ノ車ヲ眺メル。ワ



イヤーが眼ニ入ル。貸シテ下サイ。OK。
モウ水ハ目ノ前ニキテイル。ワイヤーヲカ
ケル。出発。道ニ深サ七十センチノ浸水ケ
所ヲ突破スル。カケテオイタエンジンモ止
ラナイ。万才。ワイヤーヲ返シニ後車ニモ

ドル。ワイヤーハモウ一本アルカラ、ソレヲ上ゲルヨ氣ヲツケテ行キナ」コノ言葉が後ノ活動ニ、特ニ水中ニ車ヲ入レル時ニ何ト自信ヲツケタコトカ。

六月二十一日以後の救援活動を支部に頼み六月十八日に出発した救援隊はここで帰途につく訳だが、メモから。

少シデモお役ニ立テタコト。互ニ神ヘノ愛ト兄弟トシテノ愛ヲ増シ、信仰ヲ増シ、力ヲ増セタ事。大変ナ事件ヲ通ジテデモ尚何モノカヲ頂キ合ツテ別レラレル喜ビノ握手ヲ松川兄弟等ト交シ白ミハジメタ静カナ街道ヲ群馬支部ニ向ウ。安息日夕夜前沢兄弟トモニ東京中央支部着、直チニ今井地方部長ハジメ地方部ノ役員ニ報告、第二次救援隊ヲ準備スルコトニ決定シタ。

調査の結果

新潟在住会員	一二四	床上浸水	五
全 焼	二	家全壊	一
床上浸水	一六	家中傾	二
不 明	一三	家僅傾	四
安 全	八五		



数の合計が合ワナイノワ被害ノ重ナッテル家ガアルタメ。

新潟の会員の方々が一刻も早く復興されることを祈ってやみません。この取材のために

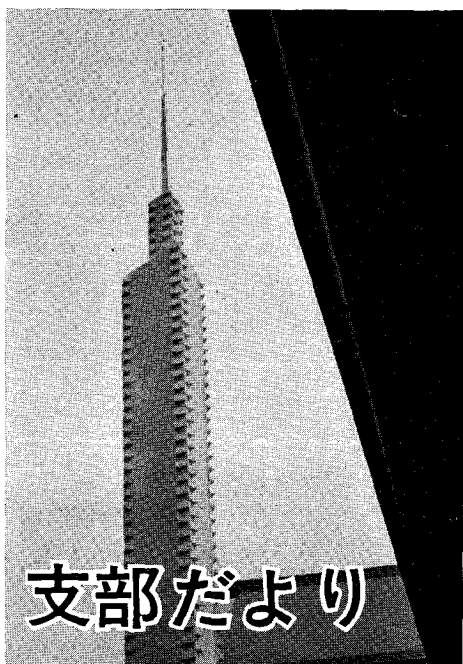


多くの人々の協力がありましたこと感謝しております。
(小林)

支部だより

阿倍野支部

日増しに暑さが厳しくなる今日この頃ですが、全国の兄弟姉妹、今日は、お元気ですか阿倍野支部の会員一同はすこぶる元気です。というのとは、大いなる主の恵みによって教堂を戴くという段階にまで達したからです。さる六月十四日午後三時、アンダーセン伝道部長御夫妻その他建築関係者、地方部役員、評議員、他支部会員等、多くの人々を迎へて、無事鍬入れ式が行われました。開会の讃美歌を歌っている時に「さあつ」とさわやかな雨が降りそそぎました。アンダーセン伝道部長は「神様が喜んで喜びの涙を流され



支部だより

た」とお話されました。

今、会員達は長い間の念願が実現されようとしているので大へん喜び感謝しています。けれども教会堂は私達が何もしないで見ている間に出来上がるものではなく、一人一人力を合せて働く事により建てる事が出来るという事をもう一度よく自覚し、働き度いと、今や私達は皆一日も早く建築に取掛れる様にと希望に胸をふくらませ準備しております。

支部長会を御紹介しましょう。長い間阿倍野支部長として働いて下さった上野山支部長御夫妻が解任されもとの岡町支部へ帰られました。上野山御夫妻は片道一時間半近くもの道のりを苦にもせず毎日の様に阿倍野までかわれ支部の為に一生懸命尽して下さいました。又御夫妻の深い愛と理解の中で本当の両親の様なお世話を受け過ぎて戴きました。阿倍野支部会員一同深く感謝しています。そして御夫妻が益々御健康で、御幸せに過ぎますようお願いして居ります。

そしてその後任として



支部長 市道 喜八郎
第一副支部長 清水 武司
第二副支部長 小倉 国康
書記 阪本 頼彦
書記補助 麻見 広男

が任命されました。市道支部長は若いはずだったフアイトマンです。彼も上野山支部長と同じ様に会員達より敬愛されています。市道支部長は若いですが『あなたは年が若い

ために人を軽んじられてはならない。むしろ言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい』(テモテ前四章十二節)を金言として支部長会メンバーの力強い助けを得、本年の重大目標であるフエロシッピング、アロン神権、ブラントチーチンゲのプログラムをよく計画し実行する事が出来る様に監督宣教師、スカット長老を初め他の宣教師、神権者、兄弟姉妹の支持を受けその責任を果すべく全身全霊を注ぎ込んで努力なさって居られます。

旭 川 支 部

皆さん今日は。この頃の旭川支部は本当に活気に満ちています。五月の北海道地方部大会六月の旭川支部大会と大きな集会が続いたせいか会員達がどんどん活発になり、御国建設の為にがんばろうというのが会員一人一人にあふれています。旭川支部では三月から四月にかけて、三人の活発な長老を失いましたが、そのショックにも負けずにがんばっております。六月二十八日の支部大会で次の組織が支持されましたのでお知らせします。

支部長会
支部長 安田 琢三
第一副支部長 大田原雅稔
第二副支部長 近藤 亘
書記 安田 琢三
アロン神権(二十一才以下)
主事 近藤 亘
執事グループリーダー 横井 秀一

執事グループ補助 三戸 誠
執事グループ補助 伊藤 栄一
執事グループ書記 荒木 調一
教師グループリーダー 木下 武男
教師グループ補助 木谷 正尚
教師グループ書記 道川 忠俊
アロン神権(二十一才以上)
教師グループリーダー 大橋 興
扶助教会

会 長 一条 瑛子
第一副会長 安田 道子
第二副会長 大田原秀子
書記兼会計 近藤 澄子
フエロシッピング委員会
委員長 大田原雅稔
副委員長 笹本 靖子
書記 山田 郁子

建築資金委員会
委員長 安田 琢三
第二副委員長 熊谷 政雄
まだまだたくさん支持されましたが、今月は、お知らせしたい事がもう一つありますので、あとは次の機会にお知らせします。
彼等は、本当に信仰厚い人達ばかりです。

旭川支部大会のお話の中で、北海道地方部は開拓の時代であるという言葉をきいて私達は本当にふり立ちました。旭川は本当に力強い若い人が多いですから七月に開かれる建築資金集めのバザーに、その成果が表わされると思います。又六月二十一日一人の姉妹が誕生しました。畠山姉妹といひます。彼女は小

さい時であった小児マヒのために身体が不自由で一人では教会に来る事ができません。でも、武藤姉妹や一条姉妹の深い友情と彼女の信仰によって五月の札幌で行なわれた地方部大会にも出席しましたし、毎回の家庭集会には、いつも武藤姉妹がいっしょで、二十一日無事バプテスマを受ける事が出来ました。証詞のとき、彼女は不自由な言葉でしたが本当にはっきりと、この教会は真の神の教会であることを又彼女がバプテスマを受けられる喜びを証詞しました。どうか彼女が不自由に負けずに活発な会員となるよう私たちといっしょに皆さんもおいのりして下さい。

群 馬 支 部

今日は、群馬支部からお便りします。昼間などは頭から水を浴びたい様な今日この頃ですが、それぞれ主のめわざに励まされておられる事と思ひます。

さて六月の十三・十四日には大望の地区大会が新潟の地で行なわれ、我々群馬からも三十名ばかり出席しまして有意義な会を持てました。

十三日(土) 昼すぎに支部をおとすれた我々はすぐ海辺へサンポにつれて行かれまして山国の群馬では知り得ない海のよさを味わいました。又白秋が歌った「砂山」の歌碑をたずねたりして一時をすごしました。夜はM I A大会がゴールド&グリーンボールとして両方の支部で用意された指導曲と被露曲として「みんな知っている楽しい曲」でもって短い

時間(楽しい時は特くに短い)をすごしました。

明くる(日)は六時の聖書の輪読に初まり宣教師が用意してくれた定食(ムギのオートミール、牛乳、パン、玉子)をおいしく食べました。そして九時からの神権会と扶助協会の大いに始まり午前 我々の一般大会に今井地方部長を迎え、又療養をほぼ終えて元気な顔を見せた松川兄弟のプログラム外の「真の人間の願いをこめた人の心を曳かずにおかない」すばらしい語をささみ特別に証し会を持って豊かな心の「マナ」を得る事が出来ました。折で私たちが帰って二日後、無情な地震によって多くの被害を受けられたとの事です。それで我々の支部長はさっそくトラックに必要な物を積み込んで救援にかけつけました。さて我々の教会建築の方は熱心な建築宣教師の働きによって、日毎に姿が変って出来つつあります。間もなくクラスルムの屋根が出来まして、今使っている建物とはとりわかれてその後のこのりの部分が出来るわけです。

新潟の兄弟姉妹の上に神様のあわれみのみ手がある様に又一日も早く立上る事が出来る様心からお祈りしています。じゃ又。

甲府支部

親愛なる兄弟姉妹の皆様。

御元気で御国建設に努力していることと、思っています。甲府支部の会員達も暑さにめげず、目的にむかって、努力しています。さて、五

月二十三、二十四日と松本支部との地区大会がひらかれました。二十三日の夜MIA、二十四日、一般大会と、盛大に催すことができ、感謝でいっぱいです。MIA、日曜学校等にもみせる松本支部のチームワークのよさと暖いふんいきにはいつもながら感心してしまっています。モルモンとは、このようなふんいきから出てくるのではないのでしょうか。大会で甲府の会員が少なかつたのは残念でした。もとと会員が少いので、この日は、ほとんどが松本の会員達でしたが、さんしょは小粒でもピリツとくらい、というとおわり、甲府の子の根性は、今にきつと発揮される日がくるでしょう。今はその準備中といったところで。その証拠に(〇)会員達がねがっていた日本人の長老が、甲府にいらっしゃいました。御名前を新山靖夫長老といい、五月のおわりごろ甲府に、派遣されていらっしゃいました。ある人いわく、腹がすわっている長老だそうです。そこで支部だより係の記者は多忙のところ、ちよっとおじやまして、インタビューいたしました。これは会員の熱望もありますので記者も少々あがり気味でしたが、新山長老はそんな記者の質問にもていねいに御答え下さいました。内容は次の通りです。

「お忙しそうですね

ええ、いろんな会のうちあわせなどがありましてね。それに今後支部長となつたのでそれも大変なんですよ。(といいながらもよろこびでいっぱいの表情)

「宣教師になられた動機は？」

私も他の長老達がやっているのをみてがんばってみようと思いましたが、それに伝道部長さんのすずめもありましたので、又、日本会の会員達に自分を通して、神の祝福を授けたいと思ったのも原因のひとつです。(ズバリと御答え！)

「宣教師になられてどのくらいたちますか。又、その時の感想など……」

宣教師となつたのは昨年の五月一日からです。だから一年とちよつとですネ。会員の皆さんが、御国建設のために、一生懸命努力しているということをつよく感じました。

(ここで記者は、先ほどの聖餐式で長老がのべた句を思い出しました。この故に我彼らにひとつの誠命を与う。いわく汝心を尽し、勢力と思ひと体力をつくして主なる汝の神を愛すべし、又イエス・キリストの名によりて神に仕うべし)

「次に会員の人たちからぜひ聞いてほしいといわれていることなんですが……」

甲府支部の印象はどうですか。

(ちよつとこまつた表情、でも記者は、身をのり出し、耳をすませてききました)

よく、人数が少いとか姉妹が多すぎるなんていわれるんですけど……

私はそう思いせんネ。素朴で、何となくひきつけるところがあると思います。支部の人は大へん明朗で、それにみなさん親切ですね。気持がやさしいからでしょう。と

(ニコリ)でもちよつと計画性がないと思います。計画会などつと活発にやるべきでしょう。

(きびしい批判もちよつぱり)

—では最後に支部長になられての抱負、又、求道者への抱負等ありましたら。支部長会を組織して、その充実をはかりたいと考えています。求道者への希望……そうですね、いってはいえませんが約束は、きちんと守ってほしいということですね。

—どうもありがとうございます。今後の活躍を期待しています。

甲府支部では、三人の宣教師がたん生いました。山本輝子姉妹、彼女は、今中央支部で元気に伝道していらつしやることと思ひます。輝子姉妹、御体に気をつけてね。吉村姉妹と、鷹野姉妹は、この支部の非専任宣教師となりました。三人の宣教師達から、多くの人が、新しい人生をみい出して、前進していくことと思ひます。がんばつて下さい。今月から毎月支部だよりをかくよう依頼されて引受けた私三井姉妹といひます。どうぞこれからよろしく願ひ致します。来月は役員紹介又すぐくめたい話題をおくりしますので、御期待下さいませ。では、又来月まで

三の宮支部

愛する兄弟姉妹コンニチワ。また、ここにお便りを書く機会のあることを感謝致します。御存知の通り、こここのところ当伝道部の発

展ぶりは誠に目覚しく、各地にスパラシイ教會堂の建築も着々と進められておりますが、この度、当支部の中川弘志兄弟が建築宣教師の任に召され上京しました。彼は、まだ二〇才を迎えたばかりの兄弟ですが、今まで支部長会に所属して活躍し、兄弟姉妹の間で人気者でした。茶目つゝ気な別面、趣味は日本刀鑑賞、特技は居合抜きという、ちよつと古武士的な風格も持つております。また、当支部には頼もしい兄弟が沢山居り、中川兄弟に続いて横山善一兄弟も、この栄えある責任に召され近く上京することになりました。彼は中川兄弟よりも若い兄弟ですが年令の割にはなかなかのフajterで、明朗で、ベビーフフェイスであることから通称『マシユマロちゃん』と皆から愛されております。モヤシ(?)のようにな細い身体つきですがスポーツは万能で、特にバスケット・ボールの腕前は大了たものです。この二人の兄弟の他にも、続いて多くの兄弟が名乗りを上げ、神の御国建設のための聖職に就くことでしよう。

去る七月四日、会場を地元、神戸の王子体育館に移して行われた関西五支部対抗のスポーツ大会決勝戦において、わが三宮チームは男子バスケット・ボールで阿倍野を破り、パレー・ボールでも選手層の厚さからくる圧倒的な強味を発揮し阿倍野に大勝。総合得点においても拔群の成績で、昨年の大阪大会に続いて連勝優勝を成し遂げ、優勝カップを再びわが支部にもたしました。地方部の坂本兄弟からカップを渡された山邑支部長は、あと

で選手達から胴上げされ大喜び。優勝を逸したとはいえ、最後まで頑張った阿倍野チーム並びに三位の京都支部の健斗ぶりをたたえた。当支部の扶助協會はやつと軌道に乗ってきた感じで、出席者も毎週二〇名近く、小さい扶助協會の部屋は満員御礼の盛況ぶり。一般集會の他にも、毎土曜日には生け花教室も設けております。

三宮支部 文芸委員

東京東支部

ひとしきり雨が降つ後、太陽が顔を出す教會の屋根の上に、くつきりと美しい虹が空への橋を掛けました。

「あら！虹よ」一人の姉妹の声に、みんなが空を見上げます。宣教師達も飛び出して来て、きれいな虹を見る事が出来ました。五月の土曜日、午後の一時兄弟姉妹達は、教會の庭の草取りの為に今日もこうして集つています。

さて今日は、現在、東支部が持つて二つの事について御紹介致します。その一つは今も云つた草取りです。雨後のたけのこならぬこの雑草は、抜いても抜いてもその後から生えて来て私達を悩ましますが、こんな処で負けてなるものかと、私達はこの戦いが止む迄兵を募り、懸命に挑戦している職人のです。またこれと平均して、教會堂の建物自身を清掃する事にも精を出していますが、雑草のすこさに比較されてか、中の掃除は以前より案外、楽に出来る様になりましたから、結構都合が良いのかも知れませぬ。

もう一つの悩み事は、東支部の兄弟姉妹、求道者も含めた全ての人々に、その豊かな知識を提供して下さる一人の兄弟、またつい最近迄、この支部だよりを送って下さっていた渡辺泰男兄弟が、胃の病気の為に入院なさってここ暫く教会へ来る事が出来なくなってしまう事です。兄弟は支部の会計書記であり日曜学校、フェロー・シッピング・スクールでの優秀な教師でもありますので一日も早く良くなられ、渡辺姉妹小学生の異美姉妹、美保保姉妹と共にあのなつかしい顔をほころばせて教会へみえられる日をみんなで心から待っています。

月日の経つのは早いもので、ついこの間来たと思っていた春がもう過ぎ去って夏の気配が感ぜられますが、五月五日の運動会には、会場迄二時間がかりの遠方にも拘らず、みんなが一致協力、ハッスルしましたのでどうにか連続優勝する事が出来ました。次の機会にもみなさんとお互いに優一杯の力を出し合って競技出来る様、今から楽しみにしています。

五月十四日は、ゴールド・アンド・グリーンボールが行われましたが、数日前よりこの日の為に練習した成果を発揮して、大変爽しく過ご事が出来ました。続く十六日は、アロン神権の回復を記念しての、働こう会と証詞会があり、出席出来ない姉妹達にとってはお気の毒でし、とても素晴らしい会でありみな証詞を強くして帰って来た様です。

五月最後の日の安息日三十一日には、系図

のファイヤー・サイドが計画されており、最後に支部の新組織を御紹介しておきます。

MIA 書記

吉原 秀雄 兄弟

フェローシッピング委員会委員長

木口 重雄 兄弟

フェローシッピング委員会副委員長

東海林定治 兄弟

フェローシッピング委員会書記

宮沢 文代 姉妹

フェローシッピング委員

渡辺 泰男 兄弟

渡辺 良子 姉妹

笹木 俣子 姉妹

歓迎委員会委員長

堀田三千男 兄弟

ではまた来月に………

フェローシッピング委員記

室 蘭 支 部

全国の兄弟姉妹毎日お元気ですか？

室蘭にも初夏が（聖徒の道にのる頃真夏）

おとずれ、緑色の木々が目に染る季節となりました。

現在室蘭支部は各二人の兄弟、姉妹が病気で、一日も早く神の力により健康になるように私達は願っております。他の兄弟、姉妹達はいって壮健に暮しておりますから御安心下さい。

五月二日 MIA の M メン グリーナは選択

の夕べを日向宏兄弟の司会でモルモンとして一般市民に接して行くにはと云う議題で討論し新婚はやほやの梅津清美兄弟初め平末邦子姉妹、吉田洋子姉妹達がおおいにハッスルして下さいますが大変有意義にすごしました。常に聖霊の力が終始我々にありましたこと感謝しております。

五月三十、三十一日の両日札幌で地方大会が伝道部長の管理のもとで行なわれ、室蘭からは支部長の川崎英三兄弟はじめ約二十名が参加しましたが、大会は素晴らしく初めての人々の心を驚嘆させます。三十日、神権会扶助協会終了後地方部の扶助協会の前会長熊谷たまの姉妹の案内であるホテルのレストランで食べた中華料理のおいしい事さらに姉妹達が兄弟達に副食をもってくださいだったのでおいしい×おいしいが二乗となり本当に室蘭支部の姉妹はやさしいです。（ええ私達の姉妹もやさしいて本当ですか？）

三十一日は一般大会、証詞会（PM 六時ファイヤースイド）で終了しましたが証詞会では兄弟姉妹達の力強い証詞をきき本心に少しではあるがこの教会の福音を知ったことを感謝せずにはいられない気持ちでいっぱいでした。

六月二十一日 柳瀬多加子姉妹、藤田恵子姉妹がバプテスマを受け新しく会員になりました。各支部の兄弟、姉妹よろしくお願いします。

六月二十九日 支部にとって大変残念ですがフィッシュ長老が阿倍野支部に転任になりました。彼は大変やさしく勤勉な方ですどうか

阿倍野支部の皆さんよろしくお願いします。

仙 台 支 部

夏の風がさらさらと肌を洗う季節になりました。杜の都仙台は今まさに美しい夏の香におおわれています。支部の庭にも黄色い菊の花、まっかな椿、あさやかなつつじ、そして豆リンゴのなる木、みんな春の開花のシーズンを去って今は緑の豊かな葉が茂っています。さて今月の仙台支部だより、まずきつての喜び事は、そう五月三十二日紙谷支部長家に玉の如くかわいい神権者の卵誕生。名はゆたかちゃん。この素晴らしい家庭にゆたかな主の愛とめぐみがありますように。紙谷姉妹も、もうじき元気になられ、彼女の美しい歌声が再び教会堂に流れるのを聞く事ができることでしょう。支部長家の内なるおめでたにつぎ外なる支部長会は今度次のように新成されおいにはりきっております。

支部長

第一副支部長 紙谷 富保

第二副支部長

阿部 順夫

書記

中田 力

補

天野 昭

塩

隆彦

去る六月十三日、十四日山形、仙台の地区大会が山形支部で行われました。土曜日のスポーツ大会においては仙台支部は、兄弟たちの活躍でみごと優勝カップをもちかえり、卓球は接戦で惜敗しました。

夕映の美しい山形支部の教会堂ホールで、午後六時半からMIA大会が開かれました。

山形支部の花笠音度、姉妹のめぐとな日本舞踊が日本調のあのホールにピタリしていてまるであつらえの舞台のようでした。又仙台支部の兄弟たちの迫力あるドラム、電気ギター、クラリネットの演奏、それからみている方ではらはらしたのダンスのデモンストレーション。フランス人形のように着飾った姉妹たちとアラビアの若者が大和チャンジャクをしめたようなハムサムな兄弟たちの踊るチャチャチャ。(だってなにしろ山形支部の名物といえはあのピカピカした床!そのすべる事すべる事、はじめてハイヒールをはいて本番に出たというある姉妹の嘆くには「あつころぶー」)と思ったとたんいつも兄弟がグイッと方向ちがいひびつばつてくれるので、かうじて、あんだよあんだよ、していられたとか。本当に山形、仙台地区大会ならでの一夕でした。翌日の一般大会には本部からの山田五郎兄弟、渡部正雄兄弟、田中建设兄弟、相良兄弟、中川姉妹、稲垣姉妹をむかえて、みたまによる素晴らしいお話、コーラス、証会と本当に靈の喜びをうけることができました。心からあたたかく仙台支部の会員をむかえてくれば、ゆきとどいたもてなしをして下さった山形支部の皆さまに心から感謝しております。大会から帰ってみると教会の玄関には、まことにまった讚美歌がとどいておりました。あたらしい印刷のにおい。皆の信仰と証しによって備えられた三十きつものこの新しい讚美歌を私たちはこれから大切につかっていきたいと思います。じゃまた来週!!

東 京 南 支 部

六月七日くわ入式が行なわれた。



伝道本部だより

バプテスマ

一九六四年四月

倉住 八州男	糸田 徳子	石井 千代子	石井 猛	石原 道男	古内 寿行	米本 裕美	山田 郁子	三戸 誠	中井 壮一	荒川 調一	旭川	矢野 隆治	梁 旗奉	阿倍野	岡町	東京東
一之宮 恵美子	芦沢 ひろみ	秋山 うた子	甲府	村上 加代子	金沢	大谷 通子	広島	小川 洋子	宮下 幸子	今井 政男	青木 利昭	群馬	大森 一子	中村 みどり	村 宗光	石田 真弓
	高山 洋子	岡山	坪井 陽一	新潟	村山 千恵子	名古屋	高橋 俊夫	須沢 千恵子	森 宏	松本	宇野 博	久恒 正暉	京都	中込 木ノ実	岩 佐純子	河内 正江
鈴木 克弘	中能 国雄	奥田 稔	古賀 康石	東京中央	田辺 志津子	松尾 昌子	稲垣 篤一	三の宮	清水 八千代	清水 都美子	金子 睦子	小樽	佐々木 久子	斎藤 治司	岡本 登志子	中村 洋
	中山 ヤヨイ	東京東	古田 陽子	島崎 康彦	佐藤 博省	伊藤 正博	藤松 正昭	東京北	若田部 節子	田中 保利	滝沢 愛子	滝口 実	沢田 あや子	佐々木 晃一	佐川 喜克	中川 茂

神 権

神 権																			
高野	松井	京都	芦沢	山田	甲府	渡辺	居村	金沢	西村	広島	山田	伊藤	旭川	矢野	高橋	西村	森脇	増田	長井
将	伸夫		博	保男		勝美	完治		春樹		次美	栄一		義昭	啓徳	正	敏雄	博文	恒彦
(〃)	(執)		(〃)	(執)		(〃)	(執)		(執)		(祭)	(執)		(〃)	(〃)	(執)	(教)	(執)	(教)
桜井	西の宮	青木	日坂	服部	名古屋	林	高橋	日向	関	佐藤	室蘭	柴	保利	松本	金丸	鳥居	中村	岡町	岡町
勝彦		圭造	光二	義寿		勝久	宏	宏	上	正喜		雅晴	利守		強	定幸	晴非	敏一	敏一
(祭)		(祭)	(〃)	(執)		(祭)	(〃)	(教)	(〃)	(執)		(〃)	(執)		(祭)	(〃)	(〃)	(執)	(執)
三井	名取	井川	船山	堂前	鈴木	菅原	仙台	横山	藤崎	三の宮	大内	岡町	釜石	前川	猪原	樋谷	塩見	中川	岡町
克	豊	洋	重憲	俊雄	秀雄	誠一郎	喜一	尚	尚	真義	義	一朝	男	義男	幸博	敏男	隆元	敏一	敏一
(〃)	(〃)	(教)	(祭)	(教)	(執)	(執)	(執)	(執)	(執)	(祭)		(〃)	(祭)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(執)	(執)
東郷	石坂	鈴木	東京西	浅野	高吉	東京南	酒井	神崎	磯本	万	豊松	辰巳	堀口	東京北	新田	河合	島村	東京中央	佐藤
淑哲	晃一	仁		時夫	弘志		肇	武二郎	和則	博行	宏	一郎	伸通	正信	富夫	誠一郎	隆保	隆保	隆保
(〃)	(教)	(執)		(長)	(長)		(長)	(祭)	(〃)	(〃)	(〃)	(執)	(教)	(長)	(執)	(執)	(教)	(教)	(教)
														比嘉	那覇	木村	神田	平野	遠藤
														嘉	那覇	十左	治	勝也	文誉
														栄吉		(長)	(〃)	(〃)	(祭)
														(教)					

音楽に関する教会の方針

教会の一般手引きから

音楽は私たちの教会の宗教上の儀式や集会においても、また「レクリエーション活動」においてもひじょうに重要な部分であります。従って、歌詞や演奏には最高の標準がいつも維持されなくてはなりません。宗教上の儀式や集会のために唱われる曲目は、唱う人にも聞く人にも信仰と祈りの気持ちを吹きこみ、回復された福音の教義を教えるようなほどよい速さで唱ったり演奏したりしなくてはなりません。

教会の教義にふさわしくない「ラヴソング」、流行歌、「黒人霊歌」などを唱ったり演奏したりしてはなりません。唱う人も演奏する人も、歌曲を教会の讃美歌集から正しく選ぶことができます。

聖餐会で用いる楽器はオルガン、ピアノおよび弦楽器のものにかぎります。聖餐会で演奏される楽器を、前奏と後奏にかぎって行な

うなら一層適切でありましょう。

ワード部（支部）聖歌隊

聖歌隊は監督会（支部長会）の指図を受けて教会のために働らきます。この聖歌隊は聖餐会のときに唱う公式の正規の聖歌隊であります。青年合唱隊「シンギング・マザーズ」「神権者合唱隊」その他を含むすべての合唱団は、聖歌隊の役員と相談をしてから監督会（支部長会）の認可を受けて始めて聖餐会で唱うはずであります。

聖歌隊の隊員は、聖歌隊の指導者が聖歌隊の長と監督会（支部長会）の認可を受けて選ぶことができます。十分な聖歌隊を組織しようとするなら指揮者、オルガン奏者、聖歌隊の隊長、会計書記、図書係、ワード部（支部）音楽委員長（聖歌隊の隊員獲得に援助をする支部長会の一員）、および補助指揮者と補助オルガン奏者（もし欲しいなら）とがあればよいでしょう。

一年のうち毎月ワード部（支部）の聖歌隊を利用するようにあらゆる努力を払うべきであります。

会衆の唱うこと

どんな集りにおいても会衆はすくなくとも一曲の讃美歌を唱うべきであります。もっと望ましいのは二曲の讃美歌を唱うことあります。すべての神権者組織と補助組織とは会衆が讃美歌を唱うことを以て音楽プログラムの基礎とするべきであります。

讃美歌指揮者はほどよい速さを目標とすべきであります。

音楽に関する革新は賛成しない。

教会の各集会における音楽は、教会の総大会で定められた様式に従って行なうべきであります。従って、教会の集会における祈りの前または後に行なわれる「音楽に関する新しい工夫」は賛成しません。

世の中の教会ではふつうに行なっているところもあります。閉会の祈りが終わってからピアノまたはオルガンで数小節が演奏されている間、おそらくその集りで話されたことを黙想するために静かに着席しているというやり方は賛成しません。

（インブルグメントエラ、千九百六十四年四月号より）。

モルモン・タバナクル・クワイヤ（聖歌隊）、ラジオ放送網による放送 第三十

五年間を完了する。

ソルトレーク市——世界的に有名なソルトレーク・モルモン・タバナクル・クワイヤ（聖歌隊）は、アイザック・M・スチュワート聖歌隊長によれば、この七月中に全米放送網による放送第三十五年記念祭を行なう。

三百七十五名の合唱で、毎週行なわれるプログラムは、アメリカの放送史上最も古くから連続して行なわれている放送網によるプログラムであると信じられている。千九百二十九年七月十五日に、はしごに上った少年が聖歌隊の前にさざげているたった一つのマイクロフォンを使ってその第一回の放送を行なつてから、電子工学の奇蹟が実際に行なわれている現在にいたるまで、この聖歌隊の声は日曜日ごとに全米の何百万という家庭で聞かれてきた。「音楽とメッセージ」の第千八百二十回目の放送は六月中に行なわれた。

この聖歌隊は、その三十五年におよぶ放送

中に三人の正規の指揮者をもった。すなわちアンソニー・L・ランド、J・スペンサー・コンウォール、リチャード・P・コンディの三人であつて、このう

ちリチャード・L・コンディは千九百五十七年以來指揮棒をふるつてゐる。また二人の立派なオルガン奏者であるアレクサンダー・シユライナーとフランク・アスパールとが千九百三十年以來聖歌隊の伴奏をつとめている。聖歌隊とタバナクル・オルガンによる演奏のほかに、「ナレーターでありプロデューサー」であるリチャード・L・エヴァンスの声が毎週呼びものの放送になつてゐる。エヴァンスの小さな説教はこのプログラムの中人気の高い呼びものである。始まつて以來すでに「ハーバー・ブラザーズ」（会社）が十冊の本にまとめて出版している。タバナクル聖歌隊は百十七年におよぶその歴史のうちに、全米にわたつて度々演奏旅行を行なつたが、とくに千九百五十五年には大英帝国と北ヨーロッパに演奏旅行をした。また、千九百六十二年サウス・ダコタのラシモア山から「テルス

ター」衛星を経由して大陸間テレビ放送の開始を行なうとき選ばれて参加した。そして今年の七月末ごろにホワイト・ハウスおよびニューヨーク万国博覧会への招待出演の途中で、またその出演から、ハウス、ニューヨーク、ロサンゼルス、アトランタ、ニューヨーク、ロチェスター、クリヴランド、ミルウォーキー、ミネアポリスの各地で上演をする。

この聖歌隊はすでに十八のL・Pレコードに吹きこんでいるが、そのうちいくつかはフイラデルフィア・オーケストラの伴奏、一つはニューヨーク・フィルハーモニックの伴奏である。そして、千九百五十九年「TVラジオ・ミラー・マガジン」が全米視聴者投票を行なつた際、アメリカで最も人気のある古典的宗教的プログラムであるという投票を得た。またその年にこの聖歌隊のヒットである「バットルヒム・オブ・ザ・リパブリック」に対して「グラミー」賞を得た。そのほかその功績に対して二回「ジョージ・フォスター・ピーボディ」賞を授けられている。

ソルトレーク市のテンブル・スクエヤにある歴史に名高いモルモン・タバナクルから始まつて、その音楽プログラムは千九百三十二年以來CBS放送網を通じてKSL局から放送されている。しかし最初の三年間はNBC放送の呼びものであつた。

東京東支部系図活動

私たち東支部の系図では今度ソーヤ支部長をむかえると同時に系図の組織を作ることにになりました。この記事が記載される頃には、組織が出来てでしょう。私たち東支部の系図クラスは昨年度後期に、今労働宣教師の上条兄弟により作られました。その後昨年度末期に、私宮城兄弟に変わりました。上条兄弟が

系図の道しるべ



支部長会の第一副支部長の米村兄弟と第二副支部長の土田兄弟にまずモルモンの
Be good example により調べていただいてその次に各組織の会長さんに調べていただきたいと思っています。東支部の先輩、細谷姉妹がこの頃調べ出していたので、別の兄弟、姉妹、にも良い影響を与えることと思います。私たち東支部と言うより東支部系図

東支部にいた時、「系図の道しるべ」と「ペリグッリチャード」の日本語版を印刷していただきました。又、今年になって東支部の数人の姉妹の助けにより「ファミリー・ゲループシート」の日本語版と英語版を印刷出来ました。また、会員たちの中にも少しずつ系図への感心が起り出しました。系図のクラスの出席は非常に少なく、やっと調べ始めたといった感じです。それで



中央のメガネの方が宮城兄弟です

系図の支部活動の原稿募集

- 一、原稿用紙 二枚以内
- 一、写真を同封
- 一、メ切 毎月十五日迄
- 一、送り先 伝道部系図委員会

戸籍について(其の三)

3. 戸籍の記載事項及び記載欄

戸籍の意義とその単位がどういふものかわかりましたので、主題に戻り、どんな内容(記載事項)がどんな場所(事項欄)に書かれているかを学んでみましょう。

戸籍の記載に関しては、戸籍法第十三条及び同法施行規則第三十条に規定が設けられており、この法定の記載事項は市町村長に於いて任意に省略したり、又規定以外の事項を記載することは許されていない。

※参考4. 戸籍法第十三条

戸籍には、本籍の外に戸籍内の各人について、左の事項を記載しなければならない。

1. 氏名
 2. 出生年月日
 3. 戸籍に入った原因及び年月日
 4. 実父母の氏名及び実父母との続柄
 5. 養子である時は養親の氏名及び養親との続柄
 6. 夫婦については夫又は妻である旨
 7. 他の戸籍から入った者についてはその戸籍の表示
 8. その他法令で定められる事項
- それでは戸籍の各欄をひな形によって名称

を示すと

表									
(4)					(1)				
					(2)				

- (1) 本籍欄 (2) 筆頭者氏名欄 (3) 戸籍事項欄
 (4) 身分事項欄 (5) 父母欄 (6) 父母との続柄欄
 (7) 養父母欄 (8) 養父母との続柄欄 (9) 配偶者欄
 (10) 氏名欄 (11) 出生年月日欄と名づけている。

但し、(7)(8)は始め設けず記載を要する程度設ける。又戸籍法第一一八条第一項、つまり旧法の規定による戸籍は戸籍事項欄がないから、戸籍事項欄は便宜上筆頭者身分事項欄に記載されることになっている。(施行規則七十四条参照)

なお氏名の記載順序は、戸籍法第十四条に従い

- ① (1)、夫婦が夫の氏を称する時は夫、妻

の氏を称する時は妻を戸籍の筆頭に記載する
 (四) 戸籍の筆頭者の配偶者を第二順位とする。

イ、第三順位に子を記載する。

②、子の間では出生の順に記載する。

③、戸籍を編纂した後に、その戸籍に入る原因が生じた場合の者については、戸籍の末尾に記載する。

これで各欄の名称を覚えたことになるのですが、今度は各欄の内容について学んで覚えましょう。

(一)、本籍欄……戸籍法第九条参照
 行政区画、土地の名称及び地番号で表示される。行政区画は町村にあっては県名より記載する。土地台帳の記載によってこれを記載し、枝番がある時は枝番も明記し、単なる通称を記載すべきでない。

(二)、筆頭者氏名欄……戸籍法第九条参照
 戸籍の検出を便利にする必要上、本籍欄の直下に本欄を設けて、筆頭者の氏及び名を記載する。

筆頭者については、本欄に記載の他、別に各人の氏名欄にもその名が記載される。又、氏については本欄にのみ記載され、一在籍者各人の氏名欄にはいずれも氏の記載はなされない。(斎藤稔男)



母親ルシイ・マック・スミスの語る

ジヨセフ・スミスの生涯（二十二）

第三十八章 教会の各支部カートランドへ移る――

バッファローにおける奇蹟

私の夫とジヨセフ（二代目）とがカートランドへむけて出かけましたすぐあとで、ウィリヤムは教師の一人でしたので教会員を訪問して各々の家族をおとずれ、その家の一人一人が彼の目の前でお祈りをするまでその家に居りました。

兄弟たちが、春もたけなわになって（水路の氷もとけ）自由に旅行ができると考えたとき、私たちはみなカートランドへ移る用意をいたしました。

註。これは千八百三十一年の二月または三月のことであったと思われる。

私たちは或るメソジストの牧師から一隻の舟を借り、みな一しよに出発する目的で、私の家で会う時をきめました。そして、このようにして集ってみると総勢が八十人でありました。

註。旅行の先発隊はバッファローまでエリー運河を「平底船」にのって旅行をした。

（いよいよ出発となると）まわりの土地の人々がやってきてわかれを告げ、私たちに天の祝福が与えられるように祈りをささげました。

ところで、私たちが出発をする数分前にハンフレイという名前の老人がストックホルムから着きました。この男の人はドン・カルロスが私の夫と一しよになって祖父をたずねた時に、ドン・カルロス自身から信仰に導かれたのでありました。

ハンフレイ兄弟が年をとっていたので、私はこの人に旅行隊の監督をしてもらいたかったのですが、彼は何ごとでも「スミスのお母さん」の言う通りにするべきであると言った

ことになりました。そして、旅行隊の全員も「その通り」と言っていました。ちょうどその時、チェンバレンという御方が舟へまいりまして私に、あなたの家族を楽にするだけのお金をもっていますかとたずねました。私はこれに対して、私は自身と子供たちのために充分のお金がありますが、たぶんあなたはこの舟の上で、あなたの助けを必要とする人をお見つけになるかも知れませんが、と申しました。するとその方は、そうですね、ここにわずかなお金がありますが、あなたのお好きなように使ってください、と言って十七ドルのお金を私にわたし舟をおりて行きました。それからすぐに私は岸からはなれ、さいさきよい舟出をいたしました。

それから私は兄弟姉妹たちを一所によび集め、私たちは昔リーハイがエルサレムを離れ、主なる神の命によって旅行していたときと同じように旅行しているのであることを思い起させ、もし私たちが忠実であるなら（リーハイと同じように）神のめぐみをいただく理由があると申しました。またそれから、あなたがたはまじめになつて、私たちが成功するようにまごころを神にささげてたえず祈つてもらいたいと言いました。それから一同腰をかけて讚美歌を唱えましたところ、船長はそれを聞いてひじょうに喜び、航海士を呼んで「ちよつとここへ来て舟のかじをとつてくれ。わしはあの歌を聞かにやならんから」と言うくらいでした。船長はあとから、私たちの間にこのようにあつい信仰のあらわれがあったことを目にしたのは自分の喜びでもあり驚きでもあったと言ひ、また家内にも一しよにおいでと言つたけれども、モルモンはきらいだと言つて一しよに來なかつたのはまことに残念なことであると申しました。

夕日が沈みかけたころ、私たちは腰をかけてまた一つ讚美歌を唱

いました。その曲は水面に美しくびびわたつて一人一人の胸のなやみをいやし、神が私たちにあらわしたもうた数々のめぐみを思つて、愛と神に対する感謝が各自の胸にいっぱいになりました。

夕方の礼拝が終つてから、私は兄弟たちに、旅行のために持つてきている食糧がどれほどあるかたずねて見ました。ところが私の驚ろいたことに、二十人のおとなの外に三十人の子供が舟に乗つていて、これらの人々はみな食料に欠乏していることを確めました。はじめ私にはなぜそうなのかわかりませんでした、あとから知つたところによると、この人たちは、自分たちよりもっとくらし向きのよい人たちが、自分たちの旅費を出してくれるのはもちろん、そのほかにも助けしてくれることと思つて手持ちの財産を食料にかえてしまつたのです。しかしながら、この人たちが最も援助を期待していた人たちがこの人たちを失望させたので、その結果重荷は一切私の肩にかかつてきたのであります。このときからずっと、私は毎日毎日かかさず五十人の人々のすべてに食料を供給してきました。

それから間もなく私は、一行の母親たちの間に、自分の子供たちの生命が危ないときにさえ一こうかまわらない一種の不注意のあることに気がつきました。そこで私は母親たちをよび集め、（母親たる者は）子供たちに対する義務を尽すことが大切であると、一生けんめい母親たちの心に刻みつけようと努めました。そしてとくにこのような所では片時でも子供を自分のそばからはなしてはいけない。子供たちは祝福として与えられたことを考えなくてはいけないのであつて、（神からの）たまものとして子供たちをとりあつかわな

と取り去られてしまふ、と力説しました。私がこのように言つて聞

かせても、母親たちは一こうに子供たちに注意せず、子供たちが言うことを聞かないのでしかたがないと言いわけを言っていました。

そこで私は姉妹たちに、私はあなたがたの子供を手なづけることができますから、もしも母親の手におえないなら、私がかわって手綱をとりますと言いました。それから私は子供たちを私のまわりによびよせ、「さて、あなたがた、わたしの言うことをよくお聞き。わたしが階段をあがってきて手をあげたなら、みんな一人のこらずでさるだけ早く走ってわたしのところへ来るんですよ。わたしの言うこと聞いてくれるね」と言いました。

そうすると一人のこらず声をあわせて「はい、そうします」と答えました。そして、子供たちはこの旅行が終るまでその約束を守り通しました。

私たちがバッファローへの道を半分ほど行つたとき運河がとまりました。すると運河がとまったことによつて、多くの不平不満がおり、人々は次のように言つてつぶやきました。

「やれやれ。運河がとまってしまった。われわれはこへ着いたが、これから先もここに居るらしい。もう先へ行くことはできないから。われわれは家をすてて出て来たから、ここでは暮らしを立ててゆく方法がない。従つてこのさきうえ死にをしなければならぬだろう」。

私はこれに答えて言いました、「いえ、そうではありません。兄弟たちよ、あなたがたは飢えないであらうし、そのようなこともありません。ただ辛抱をしてつぶやくことをおやめなさい。私は主の御手が、私たちのために善い方へ働らいておいでになることをけつして疑つて居りません。だぶん、私たちがしばらくここに居るのが

一番よいことです。水のために舟がバッファローの港をはなれることができないというのが確からしいから、もしもそうなら町は人々で混み合っているにちがいありません。そうしたら、私たちが気持ちのよい家へ入ることはほとんど出来ないことです。今このようにしている方がずっとよいとは思いませんか。すると姉妹たちがこれに答えて言いました、「なるほどねえ。私はあなたが一番よく知つてらっしゃると思いますよ。しかし（おことばによると）もとのところから動かないでいた方がよかつたかのように思えますね。私たちは（この度旅に出てこなかつたなら）もとのところで安楽椅子によりかかり、欲しいだけ樂にして居れたですもの。ところがここで私たちは疲れはてた上に休むところもないですからねえ」。

そうこうしているうちに、私たちが留まっていた所の人が舟へやつてきて、あなたがたはどの教派に属していますかとたずねてから、もし牧師さんが舟に乗つて居られたら、この近くで集りを開くようにきめたいのですが、と言いました。そこで私がこの人をハンフレイ長老とページ長老に紹介しますと、翌日一つの集りを開くことに話がきまり、その日には運河と境を接していて百人は充分に入れるほどの美しい緑地で集りが開かれました。会衆は熱心に話を聞いた末、あくる日も、もう一度会を開いてもらいたいと言いました。が、十一時までに運河がなりましたので、私たちは旅をつづけてウォータールーを出てから五日目にバッファローへ着きました。

ここで私たちはコーレスヴィルから来た兄弟たちを見つけましたが、この兄弟たちは今までここに一週間手間どつていて航路の開くのを待っていたと言いました。また私の夫とハイラムとは、四月の一日までにカートランドへ着くように、ここを通過して陸路カートラ

ンドへ向って行つたと知らせてくれました。

そこで私は兄弟たちに、二人は当地の人々に、自分たちは「モルモンだ」と言いましたか、とききました。すると兄弟たちは「もちろん言いませんでしたよ。あなたも自分の宗教（モルモンであるということ）について一言も言つてはいけません。一言でも言つたらあなたは家も舟もどちらもけつて得ることができないでしょう」と答えました。これを聞いて私は兄弟たちに、「私はモルモンであることをその通り人々に言うはずであります」と言つてからさらにつづけて「もしもあなたがたがキリスト（を信じていることを）恥じと思うなら、けつて成功すると思つてはなりません。（信仰を恥じるなら）私はあなたがたよりも前にカートランドへ行けないではないかと思うでしょう」と言いました。

私たちがコーレスヴィルの兄弟たちと話をしているうちに、もう一隻の船が岸に着きましたが、この船には三十人ほどの兄弟たちが乗つて居りその中にトーマス・B・マーシュも居りました。トーマスはすぐ私たちのところへ来て、コーレスヴィルの兄弟たちと同じように私たちが祈りをしたり、モルモンであることを知らせたりすることにきつぱりと反対しました。そして、もし私たちの一行が、今までしてきたように、相かわらず讃美歌を唱つたり祈りをしたりしているなら明朝にならないうちに襲撃を受けるにちがいない、と言いました。

私は言いました「それなら、それは暴徒です。暴徒であろうとなかろうと、日の沈まないうちに私たちは祈りをいたしましょう」。マーシュ氏はこれを聞いて、ひとり大變にいらしていました。そこで私はハンフレ・ページの二人の長老に、船員の間をまわつ

てあるいてビレーク船長という人をたずねて下さいとたのみました。この人はさきに私の兄弟ゼナル・マックの持ち船の船長をしていましたが、マックの亡くなったときその船を買い、今もその船の船長をしているのでした。二人の長老はこの人をさがしに行きましたが、じきに見つけて、彼の船はすでに定員一ぱいの船客と貨物とをせていることをその口からききました。しかし彼は、もしも私たちが甲板船客になつて行くなら、私たちをのせる余地をみつけることができるだろうと言いました。これは私たちにとって唯一つの機会であつたので、その翌日荷物をその船の上にうつしました。私たちがすっかりおちついたときにはもう雨が降り始めていました。この雨に私たちはすっかり困つてしまつたので、姉妹たちの中には船が発する間きわまで家を借りなかつたことをはげしくつぶやく人たちがありました。その人たちの中には病氣の子供をかかえている人々もあつたので、その時の事情はかなり苦しいものでありました。それで、ページ兄弟は、その姉妹たちと病氣の子供たちのために一つの部屋を借りようとして船を出て行きましたが、借りることができないで帰つてきました。これを聞くと姉妹たちはまた新しくつぶやき始めて、事情がどうあろうと一軒家を借りたいとはつきり言いました。彼らを満足させるため、そのとき雨がまだひどく降っているのに、私は姉妹たちと子供たちのために雨をしのぐところが得られないものかと、息子のウィリヤムをつれて私自身出かけました。

私は最初に見つけた宿屋のところで止まり、宿屋の主人に、数人の女の客と病氣をしている子供たちのために部屋を借してはもらえ

（四頁に続く）

扶助協会 レッスン 予告

「神學」千九百六十四—千九百六十五年度レッスン予告
「教義と聖約」

一八三二年中に予言者ジョセフ・スミスは約二ヶ月間ミズーリ州のジャクソン郡に往復した外はオハイオ州に居りました。本教課、十五章中の十一章が一八三二年に受けたものであります。それは教義と聖約の内よく知られたものの一部であります。これらの啓示のいろいろな様相が提供されて居ります。すべての啓示が重要で生涯の導き又知恵の根源として学ばなければなりません。本年学ぶ中には曾て啓示された内で人の運命にとって最大且最も素晴らしい啓示と言われる七十六章も含まれて居ります。正義、慈愛、愛の原則がこの内に見られますが人の救いの崇高さはこの光栄の段階に於て他の如何なる啓示よりも優っているのであります。

予言者がミズーリ州に居る間に主は全財産献納法及びこれに關係

した二つの啓示を与えられました。この時期に教会は會員を忠実な団体に結合して會員の経済的な福祉を図ろうと努力して居りました。

一人々々が伝道の責任を負うと強調された時に、私たちは予言者ジョセフ・スミスを通じて教会で責任ある地位を占める如何なる人でもこの義務から免れないと云うことを学びました。人がそれに基づいて裁かれる或原則が述べられ又眞の教会でないものに対する態度が示されました。

この神権時代に於ける大いなる神権の啓示の一つが一八三二年に与えられました。聖徒たちは末日のシオンとその光栄に就て、もつと学びたいと云う熱望にかられました。ミズーリ州のジャクソン郡に神殿を建てることに就て會員たちの関心が相当高まって来たので主は救いの計画に於けるこの聖なる建物及びその場所に関する情報を与えました。教会の男子會員が

神権に聖任されたが神権の原則は、女子にも適用されました。救いは神の王国の召しを導び顕す者にもたらされるのであります。神権を崇めることによって男女會員が、如何によい神の王国の會員となるかそのテストが、この資料の中に見られます。眞の教会での病の癒しのような神権の作用も含まれて居ります。

忠実な聖徒たちは大管長会からの啓示の解釈を受れます。この末日の神権時代に於て啓示の或解釈者たちは自分たちの利益になるように間違つて解釈して、神の王国を秩序の家として保つところの時をかけてためされて原則から離れて行つたのであります。この教課は多くの思わくを呼び起すような啓示に捧げられて居ります。

聖徒たちは常に教会の指導者から受ける導きに注意して安全を保っているのであります。

要するに本年度の教課は現代に於ける最も素晴らしい予言の一つであります。主の予言者の一つの機能は悪い行為の結果に就て世に警告を与えることであります。予言者としてのジョセフ・スミスの使命はアメリカの市民戦争及びその啓示で指摘されているその他の

事項の予言によって確認されたのであります。聖徒たちが予言者に耳を傾けなければならぬ時があるに就て予言されている今日であります。

一九六四—六五年度の教課は次のような題名と目的が与えられて居ります。

第五十七課 示現（「教義と聖約」七十六・一—四十九）

目的 第七十六章の起源を学ぶ永遠の進歩に就てのその教え。神とキリストの示現及びサタンの勝利と敗北の意義

第五十八課 示現（元）（「教義と聖約」七十六・五十一—百十九）

目的 救われるべきすべての神の子供たちの救いの為の神の計画を勉強する。

第五十九課 教会の独立（「教義と聖約」七十八・八十二）

目的 全財産献納法の或重要な部分及び教会内の団結の重要性に就て学ぶ

第六十課 會員として又宣教師としての個人的な責任（「教義と聖約」七十九、八十、八十一、八十二）

目的 個々の宣教師の責任を示し、若し主の云うところを行うならば主がそれに就て約束したことを守られることを示す。

第六十一課 神権に関する啓示

「教義と聖約」八十四・一一（四十二）

目的 人の救いに神権の重要なことを理解し、又現代に於て神権保持者に特別な祝福が与えられていること、又神権の重要さがその誓言と誓約に反映していることを理解する。

第六十二課 神権に関する啓示

（完）

目的 人が救いの計画及びその計画内の神権の地位を知り且つ理解する為に主がいろいろな方法を備えて下さったことを感謝する。

第六十三課 強くして力ある者

「教義と聖約」八十五

目的 主の啓示によりそうことの重要さを認識し、役職を主張することが如何にテストされるかを

第六十四課 戦争の予言

「教義と聖約」八十六、八十七

目的 小麦と毒麦のたとえ話を理解し、ジョセフ・スミスが真の予言者であることを証明する。アメリカの市民戦争及びそれに続く

世の出来事に就てのジョセフ・スミスの或予言を学ぶ。

訪問教師のメッセージ

千九百六十四年—千九百六十五年度予告

「教義と聖約」にもとづいて実践する真理

予言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示及び教えを含む教義と聖約は、私たちの日常生活に特に導きを備えることを目的とした現代の聖典であります。この素晴らしい聖典の夏は私たちを援けて高い喜びと目的のある生活標準を達成させる根本的な真理に満たされて居ります。

一九六四—六五年度の「教義と聖約」にもとづいて実践する真理は前年に於けると同様に完全なキリスト教徒的生活の根底に必要な特長及び個性を与え強調し説明して居ります。例えば一九六四—六五年度のメッセージは従順、感謝、滅私の奉仕、他人を裁こうとする誘惑をも含めて誘惑の落とし穴に陥らぬための抵抗等の重要な資質に就て、又神から与えられた私たちの自身の才能を展ばすことの重要なことに就て、すべての人は自身の働らきによって裁かれる

と言う事実と、私たちはすべての真理の根源として主の御業を求め理解せねばならないと云う根本的な真理と共に論じているのであります。

更に特に大いなる従順の原則が主からのすべての祝福は主の律法と要求に厳格に従うことに基いていると云う事実に関連して論じているのであります。その上若し私たちが主の指示に従うならば私たちにこの従順に結びついてある祝福を与える責任を有して居られるのであります。大切な人の態度である感謝の念はその人となりを大きく栄光あるものとすることに就て論じられて居ります。他人に對する滅私の奉仕の神聖な原則を提供し喜びと幸福は隣人の福祉、成功及び幸福に深い関心を持つ者に、もたらされるということが強調されて居ります。

これらのメッセージの一つ一つは実践する真理に適用されるときに、私たちの生活を如何に改善し喜ばししい意義ある達成の基をきづくか示威することによって成就されるのであります。

本年も又これらの実践する真理は、各人が実践し易いように原則を明らかにしわかりやすい模範的

な説明を加えて居ります。

一九六四—六五年度の訪問教師のメッセージとその目的は次の通りであります。

メッセージ第五十七

審判はただわれひとり任ぜよ。それは審くことはわが事にしてわれ忠報を与えん。「教義と聖約」八十二・二十三

目的 他人を審こうとする誘惑を常に良心的に避けることの大切なことを強調する。

メッセージ第五十八

およそすべてを感謝して受くる者には栄光を与えられん。「教義と聖約」七十八・十九

目的 感謝の念はその人となり

メッセージ第五十九

すべての人その隣人の利益を図る。「教義と聖約」八十二・十九

目的 主の祝福と隣人の愛に値する者となるには私たち行為が他人のことを心から考えるものであるなければならないことを示す。

メッセージ第六十

すべての人その財産を利用して利益を

得、またこれを百倍して（「教義と聖約」八十二・十八）

目的 私たちが祝福されている才能を展ばせば私たちの能力は増大することを説明する。

メッセージ第六十一

汝ら警めよ、悪魔はその領分を拡張暗黒は支配せり。（「教義と聖約」八十二・五）

目的 サタンは人々の心を捕えようとして一生懸命働いているので私たちは常に永久に警戒していなければならぬことを強調する。

メッセージ第六十二

主の言は真理にして、およそ真理なるものはすべて光なり……（「教義と聖約」八十四・四十五）

目的 真理の性質を説明し、常にそれを探求することの大切なことを示す。

メッセージ第六十三

それは彼らはその為せる行為によりて審かれますすべての人はその行為によりて……各自の領分を受くべければなり。（「教義と聖約」七十六・百十一）

目的 価値ある者と教えられ、主にほめられる者となるには私たちの生活は実のある行いで満たされなければならぬ。

メッセージ第六十四

汝らわが言うところを行わば、主なるわれこれに對して責任あり。されど、汝らわが言うところを行わずば汝ら何ら約束を受けず。（「教義と聖約」八十二・十）

目的 ただ主の律法に従うことによつてのみ約束された祝福はもたらされることを示す。

「仕事会」

千九百六十四—千九百六十五年
度レッスン予告

「幸福な生活を形づくる」

目的 今日の世界に於て母親が生活の如何なる方面に於ても彼女の家庭に又家族の一人々々に幸福をもたらしことが出来るようなことを決める。

人類が現世に在るのは幸福を得たためである。末日聖徒として私たちは人がこの世で求めるもので幸福より大きなものはないことを知つて居ります。そして末日聖徒の女性にとつて彼女の家庭及び周囲の人々にニーフアイ第二章でヤコブに語られた喜びと幸福をもたらすほど大きな使命はないのであります。彼女がその家族の世話と家庭の建設に献身するならば彼女

自身の為に大きな喜びを得るでありましょう。

ヒーパー・ジェー・グラント大管長は曾て次のように言いました。

幸福になる真の道は自分を忘れて、他人の幸福を増し加えてやることであります。そうすれば今又将来に喜びが貴方に來るでしょう。

末日聖徒イエス・キリスト教会の教えは私たちがこのような幸福を求めようように指示しています。そして私たちの宗教は現実的であり

ますので日常生活に適用され直接私たちに即ち家族の健康上に、個人的な魅力、豊かな知識に、日常の仕事にお互の交際に幸福をもたらすのであります。

これらの討論を通じて私たちは幸福な生涯というものは一日々々からなりその一日は満足された一単位でなければならぬと言つてゐることを覚えることが望ましいのであります。毎日私たちは二十四時間を閉じる時に、天の父に彼が私たちに与えてくれた家族や、友人や家、品物、仕事、才能、近親者の愛に就て感謝し、それらをよく管理する責任を果しているかを説明しなければなりません。そして若

しも一日を閉じるに當つてこれらの与えられたものを尊び敬つてよく用い、その価値を倍加し、その生産を増加したことを報告出来るならば日々の石は楽しい生活の記念碑として建てられらるべきであります。

この目的を以て一九六四—一九六五年度に於て家庭管理に就ての考察が、指示されました。それらは私たちが私たちの家族、又私たち自身の為幸福な生活を形成する為に用いなければならぬ物質的な道具に集中されるでしょう。

目的 幸福とは何であるか、又それを達成する為の或基礎は何であるかを決定する。

考察その二 健康とその幸福に及ぼす影響

目的 家庭内によい健康状態を保つ為の常軌的な方法を吟味する。考察その三 魅力ある人は幸福な証拠である。

目的 私たちの個人的な魅力が私たち自身及び私たちの家族の幸福に及ぼす効果を見る。

考察その四 家庭は幸福な天国である。

目的 家族の幸福の上にその家庭の狀態が極めて大切であることを考察する。

考察その五 その人の資力を用いることが幸福の鍵である。

目的 人がその家族と彼自身の幸福の為に既に持っている物を使用出来る方法を評価する。

考察その六 仕事からもたらされる幸福。

目的 仕事の幸福に及ぼす効果を観察する。

考察その七 よく交わること（意志のそつうをはかる）は幸福への本質的なものである。（上）

目的 人はその幸福の財産として自己表現の能力を改善する必要があることに就て考察する。

考察その八 よく交わること（意志のそつうをはかる）は幸福への本質的なものである。（下）

目的 家族の相互の間に又友だちとの間にお互によく意志のそつうをはかることが極めて大切なことを指摘する。

「社会科学」千九百六十四年—千九百六十五年度レッスン予告

「神の律法と教会制度」

教会制度の機能
毎年、社会科学の教課は人間の社交面を検討し、人間の行為をつくり出す力を観察し、私たちの社会に於ける会員らの模範的な行動

を育成する為の、しげきを進歩させる方法及び手段を考慮して居ります。

「神の律法と教会制度」の第一部に於ては、神の律法が教会制度の基礎であり神権の発動したものが教会統治であることを強調しました。

神の律法は絶えず人に与えられ、地上に於ける神の組織は人類の生活に指針を与えるようにもくろまれ、人々は信仰により、又英知を働かすことによつて、彼の能力を十分に發揮して完成の域に達するのであります。神の律法は制限するものでも又阻止するものでもありません。むしろその目的とする人類の福祉に対し創造的であり動力的なものであります。

見よ、これが業にしてわが栄光、すなわち人に不死不滅と永遠の生命とをもたらすなり。（高価なる真珠、モーセの著 一・三十九）

一九六三—六四年度の教課に於ては全体としての教会の神性に支配される各部分の相互作用を十分に備える。効果的且完全に組織された単位としての教会制度に注目集中して来たのであります。

本年度に於ては、すべての人間の活動を、神の律法の照明の内に

見ることに私たちの努力が払われるのであります。人類の完成の爲の創造者の意図は教会制度に表現された、神の意志の啓示に展開されてるのであります。教会制度の根本的な機能は、人に不死不滅と永遠の生命とをもたらす。（モーセの著一・三十九）ことであります。

私たちは、神の律法と組織は、全く人がその大いなる能力を達致するのを援ける為に擧げられていると云ふ事実注目するように呼びかけられて居ります。強制は用うべき方法ではありませんが警告と説教と堅忍と柔和と温情と偽らざる愛とは靈感と啓示を通じて進歩する信仰と共に神の方法であります。（教義と聖約百二十一・四十一）

この観点から教会統治者は、教会会員の活動に指示を与えるべきであります。出生から死亡迄、社会上の諸問題に生活し、又解決する日常事務をも含めて、人生のすべての局面に亘つてであります。忠実に完全に他人の権利を尊重し、私心なく、隣人を愛することは、神の王国の市民権に根本的に必要とされるものであります。私たちは富の社会に代えるに個

性の社会を以てし、若い人の心に、忠実な者となり頼られる者となること、又、国に忠節な市民となり、福音の標準に真実な者となることは、人生の最も貴い理想であることを自覚させるように、すべての努力を払うべきであります。（デビッド・オウ・マッケイ大管長チャーチ・ニュース一九六三年十月二十六日第二頁）

神権は創造せんとする動力であります。進歩は目的であります。教会制度は地上の全人類の生活にふれる迄成長し拡大するように挑戦されて居ります。その機能が成功的である組織としてそれは人類起居動作の絶えざる進歩の証拠をつくり出さねばなりません。最後の生産品は完全な個人及び完全な人間家族であります。

教会制度の機能は、神の導きのすべての益を具備していなければなりません。サタンの計画は人間の進歩を奪うものであります。それは決心を取除き、理性の代りに強制を適用するであります。キリストの計画は積極的に決定し創造して個人的な進歩の為に備えたものであります。彼の計画は人の内に神性の能力を認め人がそれを通じて無限に御父の完全に進進

歩出来る組織を備えて居ります。

それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者とならない。

(マタイ伝五・四十八)

地上に於けるキリストの制度は天上に於けると同様に利己心、貧

欲、憎悪に打克つ神性な性格を目標とせ食欲を節制し、心を訓練し知識に対する無限の欲求を起させるものでなければなりません。

次の教課は前述の考察に含まれる考えの詳細な説明を与えるのでありましょう。

第十五課 神の律法の生活への適用

目的 宗教と生活は一つであり又そうでなければならぬことを強調する。

第十六課 家族関係に於ける神の律法の機能

目的 立派な行為を通じて家庭内の神権の尊重がもたらされることを指摘する。

第十七課 家族関係に於ける神の律法の機能(完)

目的 人格をつくり上げる最も効果的な方法は健全な家族関係に基くことを示す。

第十八課 神権の機能と共生
活体

目的 神権の機能を活動させることは人間の経験のすべてを含むことを指摘する。

第十九課 教会活動の価値

目的 教会内の活動は、完全な生涯に本質的なものであることを示す。

第二十課 教会福祉計画

目的 兄弟愛の意義と含蓄の理解を深める。

第二十一課 要約、人の心の中の平安。

目的 この地上に平和をもたらす教会制度の機能の重要な役割を強調する。

(470頁より続き)

ないかとききました。すると宿屋の主人は、それはおやすい御用ですと言いましたが、その場に居た一人の女はこれを聞くと宿屋の主人にきびしく食ってかかり「わたしはここに泊ったんだよ。だから他人のものは何一つ入れさせないから。その子供たちは百日ぜきかはしかか、何かの伝染病にかかっていること受け合います。もしそうなら、わたしやどこかへ出て行くよ」と言いました。

そこで宿屋の主人が「まあ、まあ奥さん。そうしなくてもようございます。あなたにはまだ一つ大きなお部屋がありますから」と申しますと、その女は「どうだってかまわない。わたしや二つとも部屋がほしいよ。もし二つ部屋がとれなきゃ、ほかへ行くよ。それだけさ」と言いました。

それで私が「かまいません、何でもありません。どこかほかで一つ部屋を借りることができると思っています。ちょうど同じように」と申しますと、その女は「でもお前さんにはできないさ。わたしたちは町中さがしまわったあけく、ようやくここで一つだけ見つけたんだから」と言い返しました。

English Plan for August

Do You Treat Your Pets with Kindness?

by James G. Lawrence

Animals, especially when they are *pets*, are to be loved and treated with kindness at all times. They are never to be *tortured* or *tormented*. The most successful animal trainers know that kindness and patience, along with firmness, make the best combination for training animals to do tricks and to obey willingly. As one animal trainer has said, "The three Keys to successful training are: lots of kindness, lots of love, and lots of patience." Are not these same three keys the secret to making and keeping good friends? No one likes to be teased, and neither does an animal.

On the west side of *Africa* is a wide yellow river called the *Ogooue*. This river runs through some of the wildest and most dense jungle in the world. Snakes, monkeys, *panthers*, and *crocodiles* abound, filling the air full of wild and frightening sounds! At one spot on a bank of this great river is a clearing containing buildings of various sizes, made mostly of materials found in the jungle. This is the home and hospital of *Dr. Albert Schweitzer*, who brought love and kindness to the center of the jungle where fear and terror had *reigned*. His kindness is shown to the natives of the area, the beasts of the jungle, and the fowls of the air. The natives bring the sick members of their families to him, as well as the jungle animals that are in need of help.

Dr. Schweitzer's success and fame are due in great measure to his kindness toward animals and his fellow men. He has been *quoted* as saying, "... that boys who destroy property or works of art are called *vandals*, but grown men can destroy a *species* of wild life and be called *sportmen*." People who have kindness and respect for animals would not let such a destruction happen under any name.

In the early 1870's, a man by the name of *Andrew S. Hallidie* watched the horses that pulled the street cars *slip* and fall on the slippery streets in *San Francisco, California*. When the *fog* would roll in over the city from the ocean, it would deposit a layer of moisture everywhere. The stones that had been used to *pave* the streets became very slippery. Often the horses would become exhausted while pulling the heavily loaded street cars around the streets of the city. They would slip

on the wet surfaces and fall to the ground helpless.

Mr. Hallidie was a manufacturer of *cable*, a rope made of metal. His concern about the struggling horses and the steep hills that surrounded the growing city put his mind to *devising* some way of using his cable to *eliminate* the heavy loads of the horses. He soon worked out an acceptable design for a *cable railway car*. After great effort and much talking, Mr. Hallidie found some men who were willing to pay for the development of his idea. This event was the beginning of the famous cable cars in San Francisco.

About the same time that Mr. Hallidie was thinking about the *injustices* done to animals on the coast of the *United States*, another man on the east coast of the country was working hard to strengthen a newly organized society to help protect animals. This man was *Henry Bergh*, who had traveled in *England* and become acquainted with the Royal Society for the Prevention of Cruelty to Animals. Mr. Bergh studied the English society for a number of months and then sailed for *New York* to set up a similar organization in the United States.

The year was 1865 and *Abraham Lincoln* had just recently been *assassinated*. Street cars, carriages, wagons and all forms of hauling carts were being pulled by horses. Animals of all kinds were *cruelly mistreated* by many people who owned or handled them. Just as in San Francisco, horses were forced to pull overloaded street cars. The wealthier people often put pieces of leather *studded with tacks* into their horses' mouths so that the horses would *prance* around with their heads held high. Cattle and sheep were packed so closely together on trains and ships that many were killed from *suffocation*, thirst, hunger and exposure. Sick and dying animals were turned out to roam the streets because this was the easiest way to get rid of them.

Such cruelty to animals made Henry Bergh *devote* his life and his money to the establishment of the American Society for the Prevention of Cruelty to animals. There were some people who supported his efforts, but many became his enemies because of greed and indifference.

Because of Henry Bergh's untiring efforts and a burning desire to see animals treated with kindness, various states now have *anticruelty laws* to protect animals.

Are you treating your pets with kindness? How do you treat your family, your friends, and others?

Verbs	Words	People-Names
to torture	pets	Africa
to torment	panthers	Ogooue
to reign	crocodiles	Dr. Albert Schweitzer
to stumble	vendals	Andrew S. Hallidie
to pave	species	San Francisco, California
to devise	sportmen	United States
to eliminate	fog	Henry Bergh
to assassinate	cable	England
to mistreat	cable railway car	New York
to prance	injustices	Abraham Lincoln
to suffocate	studded with tacks	
to devote	cruelly	

1st Week

1. Introductions:

Mr. Lee: Mrs. Scott, this is Mr. Brown.

Mrs. Scott: How do you do, Mr. Brown.

Mr. Brown: How do you do, Mrs. Scott. I'm glad to meet you.

Have class practice with neighbors. Have several groups do it in front of class and/or in groups of 3 have students introduce each other.

2. Read through story in Japanese and English.... special emphasis on pronunciation and definitions of difficult words. Have students pronounce after you the sentences of part 1.

3. Record on tape several people reading part of the story (to be used in comparison at end of month).

Record as you pronounce and class repeats... play back and compare... let individuals practice and hear themselves.

4. Say each group of three cardinal numbers (one, nineteen, twenty) and then the corresponding ordinal numbers (first, nineteenth, twenty-second).

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	18	17	16	15	14	13	12	11	20
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31



April Showers
by Erika

2-day eyes did ride my

eyes did take a

Instead eyes took a long, long hike, and

it began 2

my

eyes 'd have 2

out came the

so when the

'd 4-gotten

gan, eyes thought

back home and then

In Most cases MIA follows English class.

2nd Week

1. Concentrate on first two parts of story—pronunciation, definitions of words, meaning of story. Ask what the students know about Albert Schweitzer.

2. Irregular plural forms:

A. Nouns ending in y. library-libraries secretary-secretaries

To form plural of nouns ending in y preceded by a consonant, change the y to i and add es. There is no change when y is preceded by a vowel: day, days.

B. Nouns ending in fe. housewife-housewives. e is silent, s is pronounced (Z).

C. Other irregular plural forms. man-men woman-women

D. Read the singular and say the plural of each noun:

1. doctor	6. man	11. office	16. school
2. student	7. teacher	12. secretary	17. home
3. library	8. housewife	13. hospital	18. librarian
4. nurse	9. judge	14. lawyer	19. class
5. store	10. engineer	15. woman	20. dentist

3. Change these expressions from singular to plural. Then make a sentence with there are and each plural form.

Example: a black pen

two — two black pens. There are two black pens in the desk.

- | | | | |
|--------------------|-------|------------------------|---------|
| 1. a large house | two | 6. a green notebook | seven |
| 2. a small bedroom | three | 7. a brown desk | eight |
| 3. a pretty girl | four | 8. an interesting book | nine |
| 4. a yellow pencil | five | 9. a new student | many |
| 5. an old chair | six | 10. a tall boy | several |

Word Tale or Tail?

(Choose the correct word)

This is the (tail, tale) of two bears named Teddy and Molly. (Won, one) day they went for a (sail, sale) in a bright (read, red) washtub. At first all was quiet and calm. But soon, (alas, a lass) the wind began to blow and the tub began to tip. Water started to (pore, pour) in, and Molly's (feat, feet) got all wet.

"Help! help!" they called, but there was no help in (sight, site) any where.

At last the wind (stopped, stooped) and the sky began to clear. They sailed quickly for home and got there safely. "That was a lot of fun," said Molly to Teddy, "but I don't think I'd want to go (through, threw) it again!"

What is MIA?



3rd Week

1. Cover third part of story. Try to picture in the students minds the type of cable car being discussed. Compare if possible with Japanese Railroad.

2. The Verb *like*. Repeat:

- | | |
|--------------------------------|--|
| Does John like Betty? | Yes, he <i>like</i> Betty. |
| Does Betty like John? | Yes, she <i>likes</i> John. |
| Do you like that picture? | Yes, I <i>like</i> that picture very much. |
| Do the students like English? | Yes, they <i>like</i> English very much. |
| Do you like to speak English? | Yes, I <i>like</i> to speak English. |
| Does your father like to sing? | Yes, he <i>likes</i> to sing. |
| Do the girls like to talk? | Yes, they <i>like</i> to talk. |
| Do the boys like to run? | Yes, they <i>like</i> to run. |

A. The subject of the verb *like* is always a person or an animal. The complement is a person, animal or thing.

B. The verb *like* is often followed by *to* and the simple form of

another verb. The second verb with *to* is the complement of *like*.

C. Make questions with *like*, using the different subjects and complements indicated below. Then answer each question in the affirmative.

Example: you — that map.

Do you like that map? Yes, I like that map very much.

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1. George — Dr. Clark | 7. you — that store |
| 2. Dr. Clark — George | 8. you — those clerks |
| 3. Mary — that actor | 9. you — that radio |
| 4. Mary — French | 10. you — English |
| 5. the boys — those maps | 11. the teacher — this book |
| 6. the girls — those pictures | 12. the teacher — this class |

3. Irregular Verb Forms in the Third Person Singular

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| have — it has | teach — she teaches |
| do — he does | close — she closes |
| go — he goes | erase — she erases |
| copy — he copies | pronounce — she pronounces |
| study — he studies | |

Example: I go to the store every day. Mrs. Scott _____. She _____.

Mrs. Scott goes to the store every day.

She goes to the store every day.

- | | |
|---|------------|
| 1. I go to the office every day. Mr. Scott _____. | He _____. |
| 2. We study the lesson every day. John _____. | He _____. |
| 3. We copy the sentences. George _____. | He _____. |
| 4. We do the exercises in class. The teacher _____. | She _____. |

(Have class make up additional examples.)

4. Possessive Adjectives. Repeat after teacher:

- | | |
|--------------|-----------------------------------|
| I — my | I have <i>my</i> book(s). |
| You — your | you have <i>your</i> key(s). |
| He — his | He has <i>his</i> pen(s). |
| She — her | She has <i>her</i> pencil(s). |
| It — its | A year has <i>its</i> seasons. |
| We — our | We have <i>our</i> map(s). |
| You — your | You have <i>your</i> dog(s). |
| They — their | They have <i>their</i> office(s). |

Have students give examples of sentences.

5. Match each to a name in the second list—

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. A stuffed toy animal. | May, June |
| 2. A small spring flower. | Carol |
| 3. A precious red jewel. | Teddy |
| 4. A bird that likes crackers. | Violet |
| 5. A little cat. | Hazel |
| 6. A kind of nut. | Polly |
| 7. Christmas song | Kitty |
| 8. A month | Ruby |

MIA mia MIA mia MIA mia MIA mia MIA

4th Week

1. Concentrate on 4th section of story, with thorough discussion of word and context meanings. Read whole story in Japanese and English. Read phrase by phrase—have students close eyes and repeat after you.

2. Prepositions: in, on, at, to, near.

Example: There are many exercises _____ this book.
There are many exercises in this book.

- This exercise is _____ page ninety-five.
- Are the keys _____ the desk? No, they're _____ the desk.
- There's a telephone _____ the table _____ the corner.
- Is John going _____ class now? No, he's going _____ the library.
- Is the lawyer _____ the office now? No, he's _____ court now.

(Have students give additional examples.)

3. Conversation: (Close books, teacher is to ask following questions, students answer using subject pronouns and contractions wherever possible). Answer in negative:

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. who lives in that yellow house? | 1. Do you live on Fourth Street? |
| 2. What color is your house? | 2. Do you live in a white house? |
| 3. How many rooms does it have? | 3. Do you often visit your aunt? |
| 4. What are the names of the rooms? | 4. Does she always know the lesson? |
| 5. What's in the living room? | 5. Does she often ask questions? |

(Kotowaza)

4. Dilly Dally Sayings. Unscramble:

- There are two sides to a barking dog.
Every question makes the most noise.

2. Honesty is a bad penny.

The best policy always comes back.

3. Every cloud has all that glitters.

A silver lining is not gold.

4. willful waste makes a penny saved.

Woeful want is a penny earned.

5. Hitch your wagon to variety.

A star is the spice of life.

Mutual

Improvement

Association

5th Week

1. Review the whole story—have as many students as possible participate in reading. Have one student read in English and have another student read the corresponding Japanese. Ask for any questions and help on pronunciation. Use same people who recorded the first week and have them repeat same sentences and note any improvement in pronunciation, accent, intonation, etc.

2. A compound word is a word made up of a combination of two or more smaller words, e.g.: blue bird, raindrop. Ask for examples of compound words. Have fellows challenge girls to see can be listed, how many compound words can call on a fellow, then a girl, etc and list on board.

3. Test

Use list of verbs, words, people and places at end of story and make up a short quiz using same type questions listed under conversation last week. eg. Mr. Hallidie was a manufacturer of what? Have them close their books, teacher reads questions, (that can be answered with one or two words, or yes or no) and students write the answers.

Correct the answers and if time allows discuss the answers to the questions so they have a better idea of the meaning of the story.



Don't forget to attend M.I.A.!

英会話テキスト用

貴方は貴方のペットを親切にあつかっていますか？

動物、特にペットの場合常に親切に愛を以て、あつかわれねばなりません。彼らは決していじめられたり、苦しめられたりすべきではありません。最も成功した動物訓練者は愛と忍耐とそれに堅実さを併せ持つことが動物にトリックを教えこみ進んで従うようにさせる最上の道であることを知っています。1人の動物訓練者が曾て言いました。

“訓練を成功させる3つの鍵は、多くの親切と多くの愛と多くのがまんであります”

この同じ3つの鍵は、親友を保つ秘訣ではないでしょうか？ 誰もいじめられることを好む人はいません、動物でも同様であります。

アフリカの西側にオグウェと呼ばれる広い黄色な河があります。この河は世界で或最も広い密生したジャングルの中を流れています。蛇や猿や豹も鰐がうようよして居り、野獣のほえ叫ぶ声が恐ろしくこだましています。この大きな河の岸の或一地点が切開かれて、その殆どがジャングルの材料で造られたいろいろの大きさの建物が建って居ります。ここが曾て恐怖とテロの支配したジャングルの中心に愛と親切をもたらした、アルバート・シュウィッツァ博士の家と病院であります。彼の親切はこの地方の土人や、ジャングルの土人や空の島に示されました。土人たちは、その家族の内の病人たちを彼の処え伴って来ました。又同様に助けを必要とするジャングルの動物もつれて来ました。

シュウィッツァ博士の成功と名声は動物と人間に対する彼の大きな親切によるのであります。彼は次のような言葉を引用した。

“或物体又は芸術的作品を破壊した少年は野蛮人と呼ばれる。けれども生長した大人たちは野生のいろいろな種類の生命を破壊してスポーツマンと呼ばれている”

動物に対して思いやりと尊敬の念を持っている人は如何なる名目によってもそのような破壊を起さないでしょう。

1870年代の早期にアンドルー・S・ハリディと言う人が、カリフォルニア、サンフランシスコのすべる街道の上で街道車を曳いていた馬が、つまづいてころんだのを見守りました。海（大洋）の方から濃霧がたちこめて来て市を覆うと、何処でも湿気の層をなしてしまふのであります。街道に敷かれ石は非常にすべるようになるのです。屢々馬は市の街道を重い荷を積んで車を曳いている時にくたくたになってしまうのであります。彼らはぬれた表面にすべってころんでしまうのであります。

ハリディ氏は金属性の綱、ケーブルの製作者でありました。苦闘する馬と展び行く市の周辺のけわしい岡々に就ての彼の関心は、彼のケーブルを何とか、くふうして用いることによって馬の重荷を去除くことを考えさせた。彼は間もなく有用なケーブル・レールウェイ・カーを設計した。非常な努力と多くの話合いの後に、ハリディ氏は彼の考案を発展(実現)させる為に進んで支払いをなそうとする或人々を見出しました。この事が有名なサンフランシスコのケーブルカーの始まりでありました。

ハリディ氏がアメリカ合衆国の西海岸で、動物に不正が為されていることに就て考えているのと殆ど同じ時にこの国の東海岸に、もう1人の人が動物を援け保護する為に新しく組織された団体を強化する為に一生懸命働いていました。この人はヘンリー・バフ氏で彼は英国に旅行し、動物虐待防止団体(ローヤル・動物愛護協会)と知り合いとなりました。バフ氏は数ヶ月英国のこの協会に就て学んでからニューヨークに航行し、アメリカ合衆国に同様の組織を設立したのであります。

時は1865年、丁度アブラハム・リンカーンが暗殺されたばかりでありました。街道の車、馬車、幌車及びすべての「型の運搬車は馬によって曳かれていました。あらゆる種類の動物が多くの特主又は取扱人によって残酷に取扱われていました。丁度サンフランシスコと同様に馬は積み過ぎた街道の車を無理に曳かされていたのであります。裕福な人々は屢々、びょうをちりばめた皮片を馬の口にはめて館が頭を高くあげて揚々と歩き廻るようにします。牛や羊は汽車にぎっしりと積み込まれ、その為、多くの羊が窒息と渴と飢餓と、のざらしの結果、死んで行ったのであります。病気で死にそのな動物が街頭に出向いてうろつき廻っていました。何となればこれがそれから免れる最も容易な道であったからであります。

このような動物に対する残酷さはヘンリー・バフをして彼の生涯と金銭をアメリカ動物愛護協会の設置に献身させたのであります。或人々は彼の努力を支持しました。けれども多くの者が貧欲と無関心の為に彼の敵となったのであります。

ヘンリー・バフのやむことなき努力と動物が親切に取扱われるのを見たいと言う燃ゆるような望みは多くの州をして今日動物愛護の為の虐待禁止法を持つに至らしめたのであります。

貴方は貴方のペットを親切に扱っていますか？ 貴方は貴方の家族、友人及びその他の人たちをどのように取扱っていますか？

図 書 案 内

教義と聖約	
高価なる真珠	上質革製合本……………1100円
モルモン経	
教義と聖約	合本……………300円
高価なる真珠	
モルモン経 (新訳)	……………300円
信仰箇条の研究	……………330円
モルモンとは? (新版)	……………150円
総合聖句の手引	……………150円
日本系図探究要覧	……………100円
アロン神権者用学科課程	……………150円
メルケゼデク神権、教師と生徒用	……………200円
「モルモン経の読み方の手引」	
ナザレのイエス	……………100円
正しい日本史	……………100円
家督権の祝福	……………100円
料理の作り方	……………50円
求道者教育法	……………120円
神の王国	……………230円
イエス・キリスト	……………300円

日曜学校用

モルモン経物語	……………150円
旧約聖書物語	……………150円
家族の昇栄	……………200円
福音の実践	……………200円
奇しきみわざ(上)(下)	……………200円
我等の標準聖典	……………200円
古代の使徒	……………150円
シオン山の救い手たち	……………200円
教義と聖約の教え	……………200円

M I A 用

我ら指導者のことば	……………200円
我らは信じる	……………200円
我らは奉仕する	……………150円
生活の目標	……………150円
MIA・エンサイン・ローレルの手引	……………150円
演説が上手になる法	……………150円
素晴しき考え	……………200円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌 (新版)	……………400円
レクリエーション歌集	……………400円

……………注文は各支部長へ……………

THE SEITO NO MICHU

Volume 8, August 1964, Number 8

THE CHURCH OF JESUS CHRIST OF LATTER-DAY SAINTS

NORTHERN FAR EAST MISSION

14 Azabuhiroro-cho Minato-ku Tokyo Japan

支 部 所 在 地

北海道地方部	旭川市八条五丁目 MIA集會場 旭川公会堂 電話(二一五四五)
室蘭	室蘭市幸町八九 電話(七〇五四)
小樽	小樽市富岡町一ノ三五 電話(二一八二二四)
札幌	札幌市北二条西二丁目 電話(六三一七八六六)
東中央地方部	高崎市並榎町二七五 甲府市山田町六三 松本市同心町六一二 新潟市中大畑町五五七 電話(二一八六六〇)
仙台	仙台市光禪寺通り二八 電話(二五〇八九七)
東京中央	東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇八三三〇七)
東京北	東京都中野区江原町一ノ八ノ十四 東京都江戸川区小岩町六ノ七八〇 電話(六五七一五二三)
東京東	東京都大田区南千束町二四九 電話(七二九一六三一)
東京南	東京都武蔵野市吉祥寺東町一ノ七 ノ一九
東京西	電話(二一六七六四)

山形	山形市七日町三丁目十二ノ二十三 横浜市港北区篠原町二九 電話(四九一八七七二)
西中央地方部	大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八 電話(六二一八三三七)
阿倍野	福岡市浄水町四六 福岡市古田町古江四〇ノ三 電話(三一六一三五)
広島	金沢市上胡桃町一 京都市左京区下鴨東半木町 河合方 名古屋 古屋 京都 京都市昭和区北山町三ノ四一 電話(七三一四二一〇)
金沢	兵庫県西ノ宮市仁川町四ノ五四 電話(五一〇一四一)
西ノ宮	大阪府豊中市岡町北三ノ一八 電話(二一三三六)
岡町	岡山市北方七〇 神戸市灘区篠原本町四ノ三五 電話(八六二二六〇二)
岡ノ宮	山口県柳井市今市三九一 長崎県佐世保市山手町 TAIKEI HOUSE CO., LTD.
柳井	沖繩地方部
佐世保	沖繩宜野湾市野嵩区三二八 沖繩那覇市松尾区一三九 東京都港区青山北町六ノ三四 電話(四〇二四〇一〇)
沖繩地方部	那覇 那覇 建築部事務所

聖 徒 の 道

1964年8月1日発行

振替口座 東京 16226 番

発行人兼 編集人 ダウエン・N・アンダーセン

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会北部極東伝道部

東京都港区麻布広尾町 14

印刷所 合名会社 三五堂